

## 博士論文（要約）

論文題目 東アジアにおける女仙信仰と女仙伝—その起源と展  
開、伝播

氏名 頼思好

# 題目：「東アジアにおける女仙信仰と女仙伝—その起源 と展開、伝播」

## 論文目次

<b>第一章 序論</b>	<b>1</b>
はじめに	1
第一節 女仙とは何か	1
第二節 先行研究概観	3
一 全体像	3
二 女仙伝記集—明清時代の研究を中心に	4
三 その他の関連する基礎的研究—道教文学について	5
四 東アジアにおける女仙思想文化の受容	6
第三節 本研究の方針と構成	6
<b>第二章 女仙伝記集の遡源</b>	<b>11</b>
はじめに	11
第一節 「雑集」型の神仙伝記集	12
一 女仙伝の源流としての「雑集」型神仙伝記集	12
二 版本の差異	13
三 神仙伝記集に収録された女仙伝の類型	14
（一）女仙正伝	14
（二）附伝から正伝に立てられた女仙伝	17
第二節 女仙伝記集	20
一 『墉城集仙録』——最初の女仙伝記集	21
（一）撰録者杜光庭について	21
（二）執筆動機	23
（三）版本と体例	29
二 『仙鑑後集』——二番目の女仙伝記集	34
（一）撰録者趙道一について——「仙之董狐」	35

(二) 版本と体例 .....	45
第三節 まとめ .....	53
<b>第三章 『新鐫仙媛紀事』の編纂者楊爾曾 .....</b>	<b>55</b>
はじめに .....	55
第一節 編纂者楊爾曾の信仰と出版事業 .....	56
一 浄明道の信仰 .....	57
二 道教系へ傾斜した出版事業 .....	59
第二節 『仙媛紀事』の構成と特徴 .....	61
一 構成 .....	61
二 特徴 .....	62
(一) 女仙伝記集の集大成 .....	62
(二) 文人による編纂と道教系への傾斜 .....	62
(三) 高い評価を得ていた徽派版画の挿入 .....	62
(四) 女性修道者の模範とする目的 .....	63
第三節 「女性のための女仙伝記集」という特徴とその背景 .....	64
一 晩明の社会的雰囲気 .....	64
二 象徴的事例としての曇陽子と劉香姑、苟仙姑 .....	66
第四節 まとめ .....	69
<b>第四章 『新鐫仙媛紀事』の版本と内容の形成過程について .....</b>	<b>71</b>
はじめに .....	71
第一節 『仙媛紀事』の版本について .....	71
第二節 『仙媛紀事』の著録分類と体例 .....	74
一 分類 .....	74
二 体例 .....	77
第三節 明代神仙伝の分類と位置付け .....	80
一 近代の研究者による明代神仙伝の分類と位置付け .....	81
二 明代文人による神仙伝の分類と位置付け .....	85
第四節 『仙媛紀事』編纂に用いられた資料 .....	87
一 楊爾曾が見たであろう資料 .....	87
二 『仙媛紀事』の使用した資料 .....	90
第五節 まとめ .....	96
<b>第五章 中国明代の白話小説における女仙イメージと道教思想文化—『水滸伝』からの考察— .....</b>	<b>99</b>

はじめに .....	99
第一節 『水滸伝』との関連.....	102
第二節 宋代における『大宋宣和遺事』『雲笈七籤』等の文献との関連 .....	117
第三節 宋代における遁甲術との関わり .....	125
第四節 まとめ.....	139
<b>第六章 五岳真形図と日本における女仙信仰文化 .....</b>	<b>143</b>
はじめに：江戸時代において如何に受容されたのか.....	143
第一節 五岳真形図とは何か.....	145
一 二種類の五岳真形図：地図式五岳真形図、唐鏡系五岳真形図.....	148
二 『正統道蔵』の五岳真形図 .....	164
第二節 日本における五岳真形図.....	165
一 平安時代.....	165
二 江戸時代.....	167
第三節 徳川光圀の花押 .....	192
一 光圀の号の由来について .....	192
二 五岳真形図の花押 .....	193
三 東臯心越が徳川光圀に五岳図を伝えた可能性 .....	196
第四節 江戸時代の旅行文化、地図.....	200
一 八隅盧菴『旅行用心集』 .....	200
二 『和漢年歴箋』 .....	202
三 フランス国家図書館蔵「東海道 中山道里程表」 .....	203
第五節 まとめ.....	208
<b>第七章 江戸時代の女仙文化の受容の一例（一）：東臯心越と江戸時代の天妃信仰について.....</b>	<b>211</b>
はじめに .....	211
第一節 東臯心越の渡海について：「丈夫家四海、扶桑豈好迷。」 .....	215
第二節 天妃信仰及びその関係資料.....	223
第三節 まとめ .....	230
第四節 余論：五岳真形図等の道教関連資料.....	232
<b>第八章 江戸時代の女仙文化の受容の一例（二）：平田篤胤と道教五岳真形図について.....</b>	<b>235</b>
はじめに .....	235
第一節 平田篤胤と五岳真形図.....	235

第二節 篤胤の五岳真形図に対する基本的な認識と西王母の言葉 .....	237
一 五岳真形図の基本的な認識.....	237
二 『漢武内伝』の西王母の言葉の受容.....	239
第三節 平田篤胤の五岳図画像について .....	243
一 篤胤の「(五岳山真形文)」(靈宝五岳真形図)と「洞玄靈宝五岳古本真形図並序」 ....	243
二 五岳真形図に関わる著書、出版活動について .....	250
第四節 平田篤胤の大小五岳図と三皇五帝の時空観について .....	253
一 大小五岳図之説 .....	253
二 荒外五岳の中柱と東岳.....	258
三 三皇五帝の史観と『古事記』との混同.....	259
第五節 平田家の五岳真形図伝授について.....	261
第六節 まとめ .....	266
<b>第九章 結論と余論 .....</b>	<b>269</b>
<b>付録 平田家資料において五岳図と三皇文に関わる書簡、日記等.....</b>	<b>275</b>
<b>引用及び重要参考文献一覧.....</b>	<b>305～343</b>

# 本文

五年以内に出版予定

## 引用及び重要参考文献一覧

\*凡例：原則として古漢籍は著者の年代順に、近人論著について、和文は五十音順、中文は画数順に、欧文はアルファベット順に列挙する。『正統道蔵』は『道蔵』内の三洞四輔という道教經典の分類順に列挙する。また、前出した文献は省略する。

### 一 漢籍

#### (一) 『正統道蔵』

\*翁独健編『道蔵子目引得』(哈仏燕京学社引得編纂處、一九三五年)により、道蔵の番号「HY」をつけた。

\*版本の問題については省略するが、今よく見られる版本は、『道蔵』は明正統十年(一四四五年)本、『続道蔵』は明万曆三十五年(一六〇七年)本により、一九二六年前後に上海商務印書館によって涵芬楼の名で影印出版されたものの系統だと考えられている。のち、この系統を底本とした版として、『正統道蔵』(新文豊出版公司、一九七七年、全六十冊)及び『正統道蔵』(上海書店・文物出版社・天津古籍出版社が影印を共同出版した三家本、一九八八年、全三六冊)が出版された。本稿では三家本を用いる。

HY79 『三洞神符記』、『正統道蔵』第二冊。

HY141 翁葆光註、陳達靈伝、戴起宗疏『紫陽真人悟真篇註疏』、『正統道蔵』第二冊。

HY142 張伯端撰、薛道光、陸墅、陳致虚註『紫陽真人悟真篇三註』、『正統道蔵』第二冊。

HY167 陶弘景『洞玄靈宝真靈位業図』、『正統道蔵』第三冊。

HY196 『洞玄靈宝五岳古本真形図並序』、『正統道蔵』第一一冊。

HY219 『靈宝無量度人上經大法』、『正統道蔵』第三冊。

HY285 『黄帝授三子玄女經』、『正統道蔵』第五冊。

HY290 『広黄帝本行記』、『正統道蔵』第五冊。

- HY291 『穆天子伝』、『正統道蔵』第五冊。
- HY292 『漢武帝内伝』、『正統道蔵』第五冊。
- HY293 『漢武帝外伝』、『正統道蔵』第五冊。
- HY294 『列仙伝』、『正統道蔵』第五冊。
- HY295 沈汾『続仙伝』、『正統道蔵』第五冊。
- HY296 趙道一『歴世真仙体道通鑑』、『正統道蔵』第五冊。
- HY297 趙道一『歴世真仙体道通鑑続篇』、『正統道蔵』第五冊。
- HY298 趙道一『歴世真仙体道通鑑後集』、『正統道蔵』第五冊。
- HY299 玉簡『疑仙伝』、『正統道蔵』第五冊。
- HY305 苗善時『純陽帝君神化妙通紀』、『正統道蔵』第五冊。
- HY390 『太上洞玄靈宝五岳神符』、『正統道蔵』第六冊。
- HY421 陶弘景『登真隱訣』、『正統道蔵』第六冊。
- HY441 『洞玄靈宝五岳古本真形図並序』、『正統道蔵』第六冊。
- HY507 杜光庭『太上黄籙齋儀』、『正統道蔵』第九冊。
- HY549 『上清天樞院回車畢道正法』、『正統道蔵』第十冊。
- HY581 『靈宝六丁秘法』、『正統道蔵』第一〇冊。
- HY584 『上清六甲祈禱祕法』、『正統道蔵』第一〇冊。
- HY585 張暉齋『貫斗忠孝五雷武侯祕法』、『正統道蔵』第十冊。
- HY589 陶弘景、李淳風『太上赤文洞神三籙』、『正統道蔵』第一〇冊。
- HY856 『秘蔵通玄變化六陰洞微遁甲真經』、『正統道蔵』第一八冊。
- HY587 『黄帝太一八門入式訣』、第一〇冊。
- HY588 『黄帝太一八門逆順生死訣』、『正統道蔵』第一〇冊。
- HY590 杜光庭『道教靈驗記』、『正統道蔵』第十冊。
- HY592 杜光庭『神仙感遇伝』、『正統道蔵』第十冊。
- HY593 杜光庭『歴代崇道記』、『正統道蔵』第一一冊。
- HY596 王松年『仙苑編珠』、『正統道蔵』第一一冊。
- HY598 東方朔『十洲記』、『正統道蔵』第一一冊。
- HY746 默希子『通玄真經』、『正統道蔵』第一六冊。
- HY748 杜道堅『通玄真經續義』、『正統道蔵』第一六冊。
- HY749 朱弁『通玄真經注』、『正統道蔵』第一六冊。
- HY769 謝守灝『混元聖紀』、『正統道蔵』第一七冊。

- HY777 沈庭瑞『華蓋山浮丘王郭三真君事實』、『正統道藏』第一八冊。
- HY782 杜光庭『墉城集仙錄』、『正統道藏』第一八冊。
- HY854 『太清金闕玉華仙書八極神章三皇內秘文』、『正統道藏』第一八冊。
- HY855 『三皇內文遺秘』、『正統道藏』第一八冊。
- HY856 『秘藏通玄變化六陰洞微遁甲真經』、『正統道藏』第一八冊。
- HY857 『太上洞神玄妙白猿真經』、『正統道藏』第一八冊。
- HY860 『太上六壬明鑑符陰經』、『正統道藏』第一八冊。
- HY866 『鬼谷子天髓靈文』、『正統道藏』第一八冊。
- HY869 『北斗治法武威經』、『正統道藏』第一八冊。
- HY982 『玄精碧匣靈寶聚玄經』、『正統道藏』第一九冊。
- HY1010 陶弘景『真誥』、『正統道藏』第二〇冊。
- HY1025 『山海經』、『正統道藏』第二一冊。
- HY1026 張君房『雲笈七籤』、『正統道藏』第二二冊。
- HY1055 李思遠『洞淵集』、『正統道藏』第二三冊。
- HY1056 長筌子『洞淵集』、『正統道藏』第二三冊。
- HY1102 黃元吉『淨明忠孝全書』、『正統道藏』第二四冊。
- HY1130 『無上祕要』、『正統道藏』第二五冊。
- HY1131 王懸河『三洞珠囊』、『正統道藏』第二五冊。
- HY1177 葛洪『抱朴子內篇』、『正統道藏』第二八冊。
- HY1210 『道法會元』、『正統道藏』第二八～二九冊。
- HY1211～1213 甯全真、王契真『上清靈寶大法』、『正統道藏』第三〇～三一冊。
- HY1215 杜光庭『道門科範大全集』第三一冊。
- HY1231 張万福『傳授三洞經戒法籙略說』、『正統道藏』第三二冊。
- HY1238 陳葆光『三洞群仙錄』、『正統道藏』第三二冊。
- HY1271 『五岳真形序論』、『正統道藏』第三二冊。
- HY1276 『廬山太平興國宮採訪真君事實』、『正統道藏』第三二冊。
- HY1451 『漢天師世家』、『統道藏』第三四冊。
- HY1453 洪自誠『消搖墟經』、『統道藏』第三五冊。
- HY1460 查志隆『岱史』、『統道藏』第三五冊。
- HY1466 『搜神記』、『統道藏』第三六冊。

## （二）經史部等典籍

- 郭璞注『爾雅』（『四部叢刊初編』第四二冊、所收景常熟瞿氏鉄琴銅劍樓藏宋刊本）。
- 鄭玄注・賈公彥疏『周礼注疏』（上海古籍出版社、二〇一〇）。
- 皮錫瑞『鄭志疏證』（楊家駱主編『讀書劄記叢刊第二集』第二冊、世界書局、一九八二）。
- 許慎、徐鉉校『宋本説文解字』（江蘇古籍出版社、二〇〇一）。
- 劉勰『增訂文心雕龍校注』（中華書局、二〇一二）。
- 劉昫『新校本旧唐書』（鼎文書局、一九八〇）。
- 魏徵等『新校本隋書』（鼎文書局、一九八〇）。
- 李林甫陳仲夫点校『唐六典』（中華書局、一九九二）。
- 王溥『唐会要』（中華書局、一九八五）。
- 歐陽脩・宋祁・范鎮・呂夏卿等撰、楊家駱主編『新校本新唐書』（鼎文書局、一九八一）。
- 司馬光編著、胡三省音註『資治通鑑』（古籍出版社、一九五六）。
- 王黼纂、于承祖、于道南重修『重修宣和博古図』（『四庫全書』第八四〇冊・卷二八）。
- 鄭樵『通志』（台湾商務印書館、一九八七）。
- 脱脱等『新校本宋史』（鼎文書局、一九八〇）。
- 宋濂等『新校本元史』（鼎文書局、一九八〇）。
- 張廷玉等『新校本明史』（鼎文書局、一九八〇）。
- 中央研究院歷史語言研究所校勘『明實録』（中央研究院歷史語言研究所、一九六六）。
- 董斯張『広博物志』（『景印文淵閣四庫全書』據国立故宮博物院藏本影印、第九八〇～九八一冊、台湾商務印書館、一九八三）。
- 司馬遷撰、裴駰集解、司馬貞索隱、張守節正義『史記』（中華書局、一九九七）。
- 安居香山、中村璋八輯『重修緯書集成』卷六『河図 洛書』（明德出版社、一九五七～一九七一）。
- 驢撰、王利器整理『釋史』（中華書局、二〇〇二）。
- 李燾撰、上海師範大学古籍整理研究所、華東師範大学古籍整理研究所点校『続資治通鑑長編』（中華書局、二〇〇四）。
- 馮琦原編、陳邦瞻增輯『宋史紀事本末』（『景印文淵閣四庫全書』據国立故宮博物院藏本影印、第三五三冊、台湾商務印書館、一九八三）。
- 江少虞編『事実類苑』（『景印文淵閣四庫全書』據国立故宮博物院藏本影印、第八七四冊、台湾商務印書館、一九八三）。

### (三) 子集部等典籍及び他の古典文献

#### 1. 子集・集成等

墨翟撰『墨子』(『景印文淵閣四庫全書』據国立故宫博物院藏本影印、第一五四冊、台湾商務印書館、一九八三～一九八六)。

饒宗頤校箋『老子想爾注校箋』(東南印書館、一九五六)。

葛洪著、王明校积『抱朴子内篇校积(増訂本)』(中華書局、一九八五)。

蕭統編、李善注『文選』(上海古籍出版社、一九八六)。

嚴可均校『全上古三代秦漢三国六朝文』(中華書局、一九九一)。

酈道元注、楊守敬・熊会貞疏、段熙仲点校、陳橋馭復校『水經注疏』(江蘇古籍出版社、一九八九)。

酈道元注、楊守敬・熊会貞疏、陳橋馭校积『水經注校积』(杭州大学出版社、一九九九)。

李筌撰、錢熙祚校『神機制敵太白陰經』(『守山閣叢書』第五三冊所収、芸文印書館、一九八六年景印清道光錢熙祚校刊本)。

李德裕『次柳氏旧聞』(丁如明輯校『開元天寶遺事十種』上海古籍出版社、一九八五)。

王仁裕、曾貽芬点校『開元天寶遺事』(中華書局、二〇〇六)。

董誥等編『全唐文』(中華書局、一九八七)。

李時人編校、何滿子審定『全唐五代小説』(陝西人民出版社、一九九八)。

清聖祖敕編、陳尚君輯校『全唐詩補編』(中華書局、一九九二)。

汪辟疆校録『唐人小説』(上海古典文学出版社、一九五五)。

釈延寿集『妙法蓮華經』(『大正新脩大藏經』第九冊、新文豐出版公司、一九八三年景印大正十三年至昭和九年大正一切經刊行会排印本)。

洪邁『夷堅志』(中華書局、二〇〇六)。

李昉等『太平広記』(中華書局、二〇〇六)。

楊維徳『宋仁宗御製景祐遁甲符応経』(商務印書館景印宛委別藏伝録舊鈔本)。

楊維徳『景祐遁甲蓮華通神經』(中国国家図書館所蔵、明抄本)。

張君房編、李永晟点校『雲笈七籤』(中華書局、二〇〇三)。

劉辰翁『劉辰翁集』(江西人民出版社、一九八七)。

唐圭璋編『全金元詞』(中華書局、一九七九)。

陳耆卿『赤城志』(『景印文淵閣四庫全書』国立故宫博物院藏本影印、第四八六冊、台湾商務印書館、一九八三～一九八六)。

- 王士性『広志繹』、『五岳游草』（『歴代史料筆記叢刊』中華書局、二〇〇六）。
- 陶宗儀『説郛』（新興書局、一九六三）。
- 陸人龍著、雷茂斎・王欣校点『型世言』（『明代小説輯刊』第一輯第二冊、巴蜀書社、一九九三）。
- 高啓『高太史大全集』（『四部叢刊』初編第八一冊、台湾商務印書館、一九六五）。
- 謝肇淛『五雜俎』（上海書店出版社、二〇〇一）。
- 胡応麟・江湛然輯『少室山房筆叢』（世界書局、一九六三）。
- 沈德符『万曆野獲編』、『歴代史料筆記叢刊』（中華書局、二〇〇七）。
- 王世貞『曇陽大師伝』、『弇州山人統稿』（文海出版社、一九七〇）。
- 周斎曾『襄雲文集』（『叢書集成統編』新文豐出版公司、一九八九）。
- 馮夢禎・丁小明点校『快雪堂日記』（鳳凰出版社、二〇一〇）。
- 朱之瑜撰、馬浮編『朱舜水全集』（世界書局、一九五六）。
- 葛寅亮『四書湖南講』（『統修四庫全書』第一六三冊、上海古籍出版社、一九九五年據中国科学院図書館蔵明崇禎刻本影印）。
- 李賢等『明一統志』（『景印文淵閣四庫全書』據国立故宫博物院蔵本影印、第四七二～四七三冊、台湾商務印書館、一九八三～一九八六）。
- 紀昀総纂『文淵閣四庫全書』（台湾商務印書館、一九八三～一九八六年據国立故宫博物院蔵本影印）。
- 嵇曾筠等『浙江通志』（『景印文淵閣四庫全書』據国立故宫博物院蔵本影印、第五一九～五二六冊、台湾商務印書館、一九八三～一九八六）。
- 陳夢雷編『古今圖書集成』（巴蜀書社、一九八六～一九八七）。
- 趙翼『陔余叢考』（商務印書館、一九五七）。
- 張正茂『龜台琬琰』（『香豔叢書』上海書店、一九九一）五二六～五三〇頁。
- 王言『西華仙録』（張潮・楊復吉・沈楸惠等編纂『昭代叢書 甲集』上海古籍出版社、一九九〇）。
- 錢大昕『潜研堂文集』（錢大昕著、陳文和主編『嘉定錢大昕全集』第九冊、江蘇古籍出版社、一九九七）。
- 嚴一萍『道教研究資料・第一輯』（芸文印書館、一九七四）。
- 嚴一萍『道教研究資料・第二輯』（芸文印書館、一九七四）。
- 鄭敷教『鄭桐庵筆記』（『筆記小説大観』三八編、新興書局、一九六〇）。
- 褚人穫『堅瓠十集』（『筆記小説大観』二三編、新興書局、一九六〇）。
- 司馬光『涑水紀聞』（巴蜀書社、一九九三）。

积文瑩『続湘山野録』（『筆記小説大観』十二編一冊、新興書局、一九七六）。

『宣和遺事』（上海古籍出版社據復旦大学所蔵黄丕烈輯『士礼居黄氏叢書』影印、一九九四年）。

『宣和遺事』（『百部叢書集成』第四五所収『士礼居叢書』第四函、芸文印書館、一九六六）。

施耐庵『容与堂本水滸伝』（上海古籍出版社、一九八八）。

施耐庵集撰・羅貫中纂修・李卓吾評閱『忠義水滸全書』（東京大学文学部所蔵神山閨次旧蔵本）。

## 2. 神仙伝版本

劉向著、王照円校正、王叔岷校箋『列仙伝校箋』（『中国文哲專刊 七』中央研究院中国文哲研究所籌備処、一九九五）。

劉向著、王照圓校正『列仙伝』（『中国神仙伝記文獻初編』第一冊、捷幼出版社、一九九二）。

劉向著、王照圓校正『列仙伝校正』（郝懿行『郝氏遺書』第二一冊、清嘉慶至光緒間刊本）。

劉向『列仙伝』（嚴一萍選輯『百部叢書集成』芸文印書館、一九六六年影印『琳琅密室叢書』）。

葛洪『神仙伝』（『景印文淵閣四庫全書』據国立故宫博物院蔵本影印、第一〇五九冊、台湾商務印書館、一九八三～一九八六）。

葛洪『神仙伝』（嚴一萍輯『百部叢書集成』芸文印書館、一九六六年影印明『夷門広牘』）。

錢熙祚『漢武帝内伝校勘記』（嚴一萍選輯『百部叢書集成』第五二冊、芸文印書館一九六八年景印『守山閣叢書』）。

見素子著、嚴一萍校『洞仙伝』（嚴一萍『道教研究資料・第一輯』芸文印書館、一九七四）。

杜光庭著、嚴一萍輯校『仙伝拾遺』（嚴一萍『道教研究資料・第一輯』芸文印書館、一九七四）。

杜光庭著、嚴一萍輯校『王氏神仙伝』（嚴一萍『道教研究資料・第一輯』芸文印書館、一九七四）。

賈善翔著、嚴一萍輯校『高道伝』（嚴一萍『道教研究資料・第一輯』芸文印書館、一九七四）。

馬枢著、陳国符輯佚『道学伝』（陳国符『道蔵源流考』中華書局、一九八九）。

陶宗儀『說郛』（新興書局、一九六三）。

淮南秦子晋『新編連相搜神広記』（王秋桂・李豐楙主編『中国民間信仰資料彙編』第一輯第二冊、台湾学生書局、一九八九）。

『三教源流聖帝仏祖搜神大全』（王秋桂・李豐楙主編『中国民間信仰資料彙編』第一輯第三冊、台湾学生書局、一九八九）。

『新刻出像増補搜神大全』（王秋桂・李豐楙主編『中国民間信仰資料彙編』第一輯第四冊、

台湾学生書局、一九八九)。

張文介『広列仙伝』(王秋桂・李豊楙主編『中国民間信仰資料彙編』第一輯第五冊、台湾学生書局、一九八九)。

汪雲鵬『有象列仙全伝』(王秋桂・李豊楙主編『中国民間信仰資料彙編』第一輯第七冊、台湾学生書局、一九八九)。

洪応明著『月旦堂仙佛奇蹤合刊』(王秋桂・李豊楙主編『中国民間信仰資料彙編』第一輯第八冊、台湾学生書局、一九八九)。

余象斗『北遊記』(『四遊記』、『古本小説集成』所収、上海古籍出版社、一九八六)。

余象斗『北方真武祖師玄天上帝出身志伝』(『古本小説集成』所収、上海古籍出版社、一九九〇)。

### 3. 楊爾曾の出版物

『新刻東坡禪喜集』明万曆十八年刊本。中研院史語所傅斯年圖書館藏本。

『蘇東坡先生禪喜集』明刊本。国家図書館蔵十四卷本。

『蘇東坡先生禪喜集』台湾 国家図書館蔵一卷本。

『蘇東坡先生禪喜集』中野伯元刊本。日本 公文書館内閣文庫蔵本。

『蘇東坡先生禪喜集』中野伯元刊本。日本 国会図書館蔵本。

蘇軾撰、徐長儒輯、森大狂校訂『東坡禪喜集』、(藍吉富編『大藏經補編』第二十六冊、華宇出版社、一九八六)六三七～七九八頁。

蘇軾撰、徐長儒輯、森大狂校訂『東坡禪喜集』、(藍吉富編『現代佛学大系』第四十八冊、彌勒出版社、一九八四)一～一四二頁。

蘇軾撰、徐長儒輯、森大狂校訂『東坡禪喜集』(老古文化事業公司、一九八八)。

蘇軾撰、徐長儒輯、森大狂校訂『東坡禪喜集』(新文豊出版股份有限公司、一九九三)。

『狐媚藂談』明刊本。中国 上海図書館蔵本。

『狐媚藂談』日本抄写本。日本 筑波大学蔵手抄本。

『狐媚藂談』明刊本。日本 公文書館内閣文庫蔵本。

『狐媚藂談』林羅山據明刊抄写本。日本 公文書館内閣文庫蔵本。

墨辰子『狐媚藂談』(『明清善本小説叢刊続編』第四輯第七六冊、天一出版社、一九九〇)。

『新鐫仙媛紀事』明刊本。日本 公文書館内閣文庫蔵本。

『新鐫仙媛紀事』明刊本。台湾 国家図書館蔵本。

『新鐫仙媛紀事』明刊本。台湾 国立故宮博物館蔵本。

『新鐫仙媛紀事』明刊本。中国国家図書館蔵本。

『新鐫仙媛紀事』明刊本。中国 上海図書館蔵本。

『新鐫仙媛紀事』明刊本。残本。日本 尊経閣文庫蔵本。

『新鐫仙媛紀事』明刊本。残本。台湾 国立故宮博物館蔵本。

楊爾曾撰、黄玉林鐫『新鐫仙媛紀事』。(王秋桂・李豊楙主編『中国民間信仰資料彙編』第一輯第九冊、台湾学生書局、一九八九)。

『出像許真君浄明宗教録』万曆三十一年草玄居刊版、万曆三十二年西清堂發行本。北京大学蔵本。

『図絵宗彝』万曆三十五年夷白堂刊本。アメリカ国立国会図書館蔵本。(微卷)

『図絵宗彝』明刊複製本。中国 上海図書館蔵本。

『図絵宗彝』日本 東京大学東洋文化研究蔵本。

『図絵宗彝』日本 公文書館内閣文庫蔵本。

『新鐫海内奇観』日本 公文書館内閣文庫蔵本。

『新鐫海内奇観』日本 東京大学東洋文化研究蔵本。

『新鐫海内奇観』台湾 中研院史語所傅斯年図書館蔵本。一〇冊本。

『新鐫海内奇観』台湾 中研院史語所傅斯年図書館蔵本。一二冊本。

『新鐫海内奇観』台湾 国家図書館蔵本。〇三八七七

『新鐫海内奇観』台湾 国家図書館蔵本。〇三八七八

『新鐫海内奇観』台湾 国家図書館蔵本。〇三八七九

『新鐫海内奇観』台湾 国家図書館蔵本。〇三八八〇

『新鐫海内奇観』台湾 国立故宮博物館蔵本。

『新鐫海内奇観』中国国家図書館蔵本。

『新鐫海内奇観』中国 上海図書館蔵本。

『新鐫海内奇観』韓国 高麗大学蔵本。

楊爾曾編撰、陳一貫絵、汪忠信鐫『新鐫海内奇観』(『続修四庫全書』上海古籍出版社、一九九五～二〇〇二據万曆夷白堂刻本)。

陳氏尺蠖齋評釈、周氏大業堂校『東西晋演義』(『古本小説集成』第三九冊、上海古籍出版社、一九九〇據明周氏大業堂刊本)。

夷白堂主人重修、泰和堂主人参訂『東西晋演義』(『古本小説集成』第二三六冊、上海古籍出版社、一九九〇拠明万曆泰和堂刊本)。

『東西晋演義』台湾 国家図書館蔵本。

高正臣輯『高氏三宴詩集』（『景印文淵閣四庫全書』第一三三二冊據国立故宫博物院蔵本影印、台湾商務印書館、一九八三～一九八六）。

『新鐫通俗演義三国志伝』。残本。日本 慶応義塾大学図書館蔵本。

『食物本草』（出版情報には清刊と書いてあるが、明刊本と思われる）。日本 公文書館内閣文庫蔵本。

『食物本草』江戸抄本。日本 公文書館内閣文庫蔵本。

夷白堂主人校刊『食物本草』（『中国海外古籍珍本叢刊・美国哈佛大学燕京图书馆蔵中文善本彙刊』商務印書館・桂広西師範大学出版社、二〇〇三年據明夷白堂刻巾箱本影印）。

『出像許真君浄明宗教録』万曆三十一年草玄居刊版、万曆三十二年西清堂発行本。

雉衡山人編次『新鐫批評出相韓湘子』日本 公文書館内閣文庫蔵本。

雉衡山人編次『新鐫批評出相韓湘子』韓国 首爾大學校奎章閣蔵本。

雉衡山人編次『新鐫批評出相韓湘子』中国 北京大学蔵本。

雉衡山人編次『韓湘子全伝』（『古本小説集成』第二〇〇冊、上海古籍出版社、出版年不詳、據九如堂本影印）。

杜道堅『文子續義』（『叢書集成初編』中華書局、一九八五）。

徐靈府、朱弁・杜道堅注、孫鉉評『文子』（『続修四庫全書』第九五八冊上海古籍出版社、一九九五年据清華大学図書館蔵明天啓梁杰刻本影印）。

『択日選要』林羅山抄本。日本 公文書館内閣文庫蔵本。

楊雄、范望注『太玄経』（明嘉靖甲申三年郝氏万玉堂覆刊宋兩浙茶塩司本。国立故宫博物館蔵本）。

#### 4. 五岳真形図及び平田篤胤等に関する文献

藤原佐世『日本国見在書目録——宮内庁書陵部所蔵室生寺本』（名著刊行会、一九九六年翻印）。

岡田莊司校訂『日本書紀神代卷抄：兼俱本・宣賢本』（吉田神社編『吉田叢書』、続群書類従完成会、一九八四）第五編。

大江文坡『五岳真形図伝』（国立国会図書館蔵本）。

横山潤『五岳真形図集』（国立国会図書館蔵本）。

平田篤胤『天柱五岳余論』（国文研鶴飼蔵本）。

- 平田篤胤「(五岳山真形文)」(国立歴史民俗博物館蔵本)。
- 平田篤胤蔵「洞玄靈宝五岳古本真形図并序」(国立歴史民俗博物館蔵本)。
- 平田篤胤蔵「五岳真形之図」(文政庚寅孟春翻刻、国立歴史民俗博物館蔵本)。
- 平田篤胤全集刊行会編『新修平田篤胤全集』(名著出版、一九七六)。
- 郭玉海編『故宮藏鏡』(紫禁城出版社、一九九六)。
- 安積寛等著、三木之幹等編『桃源遺事』(東京大学蔵「鷗外蔵書」本、出版年不詳)、天冊。
- 山本悦心『黄檗東渡僧宝伝』(黄檗堂、一九二六)。
- 浦江政協文史資料委員会編『東皐心越全集』(浙江人民出版社、二〇〇六)。
- 陳智超編『旅日高僧東皐心越詩文集』(中国社会科学出版社、一九九四)。
- 高羅佩『明末義僧東皐禪師集刊』(商務印書館、一九四四)。
- 浅野斧山輯『東皐全集』(一喝社、一九一一年鉛印本)。
- 咸章堂写「心越禪師書画卷」(茨城歴史館蔵、製作年不明)。
- 小宮山楓軒『水城金鑑』(水戸市史編纂会、一九六五)。
- 『徳川光圀書翰集』(茨城県立図書館蔵)。
- 『水戸義公(小城・鍋島侯あて)烈公(土浦・土屋侯あて)書翰集』(茨城県立図書館、茨城県郷土文化研究会、一九六五)。
- 東京都中央区教育委員会社会教育課編『中央区旧家所蔵文書：小津商店・佐々木印店・中村家文書』(中央区教育委員会、一九九五)。
- 『快風船涉海紀事』(東京大学蔵)。
- 『快風丸蝦夷文書』(茨城歴史館蔵)。
- 『快風丸之事』(茨城歴史館蔵)。
- 安達裕之『快風船涉海紀事』(茨城県立図書館、一九八二)。
- 『快風丸記事』(『北海道郷土研究資料 第五』、一九五九年十一月)。
- 『快風丸考』(函館市中央図書館蔵)。
- 『快風丸記』(函館市中央図書館蔵)。
- 『増修/改正万国全図和漢年歴箋』(千鍾房、文政三年、個人蔵)。
- 『増修改正和漢年歴箋』(千鍾房、一八六八、早稲田大学蔵本)。
- 『増修/改正和漢年歴箋』(千鍾房、慶応四年、個人蔵)。
- 山田孝雄『平田篤胤』(宝文館、一九四〇)。
- 山田孝雄『平田篤胤』(畝傍書房、一九四二)。
- 渡辺金造『平田篤胤研究』(六甲書房、一九四二)。

三木正太郎『平田篤胤の研究』（神道史学会、一九六九年、のち三木正太郎『平田篤胤の研究』『神道史研究叢書〈5〉』臨川書店、一九九〇に収録）。

谷省吾『平田篤胤の著述目録—研究と覆刻』（皇学院大学出版部、一九七六）。

『平田篤胤大人図集』（彌高神社平田篤胤佐藤信淵研究所、一九九三）。

朝倉治彦編『屋代弘賢・不忍文庫蔵書目録』（ゆまに書房、二〇〇一）。

国立歴史民俗博物館 平成 16 年度特別企画『明治維新と平田国学』により図録『明治維新と平田国学』（国立歴史民俗博物館、二〇〇四）。

阿部義平編『平田国学の再検討（一）「平田家資料」翻刻解題（一）』〔国立歴史民俗博物館研究報告 第 122 集〕（国立歴史民俗博物館、二〇〇五）。

宮地正人編『平田国学の再検討（二）「平田家資料」翻刻解題（二）』〔国立歴史民俗博物館研究報告 第 128 集〕（国立歴史民俗博物館、二〇〇六）。

国立歴史民俗博物館編『平田篤胤関係資料目録』〔国立歴史民俗博物館資料目録 6〕（国立歴史民俗博物館、二〇〇七）。

宮地正人編『平田国学の再検討（三）「平田家資料」翻刻解題（三）』〔国立歴史民俗博物館研究報告 第 146 集〕（国立歴史民俗博物館、二〇〇九）。

宮地正人編『平田国学の再検討（四）人名及び書名索引』〔国立歴史民俗博物館研究報告 第 159 集〕（国立歴史民俗博物館、二〇一〇）。

『企画展「東皐心越と水戸光圀——黄門様が招いた異国の禅僧」』展覧会図録（駒沢大学禅文化歴史博物館、二〇一五）。

『平賀源内のまなざし 源内焼』展覧会図録（五島美術館、二〇〇三）。

『道教の美術 TAÔISM ART』特別展図録（読売新聞大阪本社・大阪市立美術館、二〇〇九）。

『十一屋コレクションの名品 ～野口柿邨をめぐる文人たち』特別展図録（山梨県立美術館、二〇一二）。

## 二 目録、書目、工具書及び索引

### （一）総合及び道教

古存雲『中国大百科全書・宗教巻』（新華書店、一九八八）。

石汝傑主編『明清呉語詞典』（上海辞書出版社、二〇〇五）。

任継愈主編『道蔵提要』（中国社会科学出版社、一九九一）。

昌彼得・王徳毅・程元敏・侯俊徳編『宋人伝記資料索引』（鼎文書局、二〇〇一）。

- 胡孚琛主編『中華道教大辞典』（中国社会科学出版社、一九九五）。
- 翁独健『道藏子目引得』（哈仏燕京学社引得編纂处、一九三五）。
- 郝懿行『証俗文』（長澤規矩也編『明清俗語辞書集成』（上海古籍出版社、一九八九）。
- 国立中央図書館編輯『明人伝記資料索引』（中央図書館、一九六六）。
- 許宝華・宮田一郎編、復旦大学・京都外国語大学合作編纂『漢語方言大詞典』（中華書局、一九九九）。
- 野口鉄郎、坂出祥伸、福井文雅、山田利明編『道教事典』（平河出版社、一九九四）。
- 復旦大学歴史地理研究所中国歴史地名辞典編委会編『中国歴史地名辞典』（江西教育、一九八八）。
- 譚其驤主編『中国歴史地図集』（中国地図出版社、一九八二～一九八七）。
- Schipper, Kristofer M.（施舟人）原編、陳耀庭改編『道藏索引——五種版本道藏通檢』（上海書店出版社、一九九六）。
- Schipper, Kristofer M. and Verellen, Franciscus ed., *The Taoist Canon: A Historical Companion to the Daozang*. Chicago & London: The University of Chicago Press, 2004.
- Pregadio, Fabrizio. *The Encyclopedia of Taoism*. London: Routledge, 2008.

## （二）書画目録及び題跋関連

- 陳振孫『直齋書録解題』（台湾商務印書館、一九八三）。
- 胡応麟『少室山房筆叢 十二種』（『読書筭記叢刊 第二集』）第一二、一三冊、世界書局、一九六三）。
- 永瑤・紀昀等『四庫全書総目提要』（商務印書館、一九三三）。
- 莫友芝撰、傅增湘訂補、傅熹年整理『藏園訂補邵亭知見伝本書目』（中華書局、二〇〇九）。
- 黄虞稷撰、杭世駿補『千頃堂書目』（広文書局、一九六七摺適園叢書本）。
- 上海図書館『中国叢書綜録』（上海古籍出版社、一九八六）。
- 大塚秀高『中国通俗小説書目』（汲古書院、一九八七）。
- 大塚秀高『中国通俗小説書目改訂稿（初稿）』（汲古書院、一九八四）。
- 中央研究院歴史語言研究所編印『中央研究院歴史語言研究所善本書目』（中央研究院歴史語言研究所、一九六八）。
- 中国科学院図書館整理『続修四庫全書総目提要（稿本）』（斎魯書社、一九九六）。
- 王秋桂・李豐楙主編『提要与總目』（『中国民間信仰資料彙編』第一輯第一冊、台湾学生

書局、一九八九)。

王重民『中国善本書提要』(上海古籍出版社、一九八三)。

王清原・牟仁隆・韓錫鋒編纂『小説書坊録』(北京図書館出版社、二〇〇二)。

江蘇省社会科学院明清小説研究中心編『中国通俗小説総目提要』(中国文聯出版公司、一九九〇)。

余嘉錫『四庫提要辨証』(中華書局、一九八〇)。

杜信孚・杜同書『全明分省分県刻書考』(線装書局、二〇〇一)。

林夕主編『中国著名蔵書家書目匯刊』(商務印書館、二〇〇五)。

施廷鏞『中国叢書綜録続編』(北京図書館出版社、二〇〇三)。

施廷鏞編著『中国叢書綜録続編』(北京図書館出版社、二〇〇三)。

柳存仁『倫敦所見中国小説書目提要』(鳳凰出版社、一九七四)。

洪湛侯『百部叢書集成研究』(芸文印書館、二〇〇八)。

美国哈仏大学哈仏燕京図書館編『美国哈仏大学哈仏燕京図書館蔵中文善本彙刊総目提要』  
(商務印書館・広西師範大学出版社、二〇〇三)。

孫楷第『中国通俗小説書目』(木鐸出版社、一九五七)。

孫楷第『日本東京所見小説書目』(人民文学出版社、一九八一)。

孫殿起『販書偶記』(『四部刊要』漢京文化、一九八四)。

孫殿起『販書偶記続編』(『四部刊要』漢京文化、一九八四)。

西川寧・長澤規矩也輯『和刻本書画集成第五輯』(東京汲古書院、一九七八年影印)。

長沢規矩也編『日光山「天海蔵」主要古書解題』(日光山輪王寺、一九六六)。

尊経閣文庫『尊経閣文庫漢籍分類目録』(尊経閣文庫、一九三四)。

薄井恭一編『明清插图本図録 一卷附解説一卷』(中研院史語所傅斯年図書館蔵古籍線装書、  
一九四二年影印本)。

陽海清編著、蔣孝達校訂『中国叢書綜録補正』(江蘇広陵古籍刻印社、一九八四)。

馮惠民・李万健等選編『明代書目題跋叢刊』(書目文献出版社、一九九四)。

楊家駱主編『明史芸文志広編』(世界書局、一九六三)。

葉德輝『書林清話』(岳麓書社、一九九九)。

趙万里編『西諦書目』(成文出版社、一九七八)。

劉修業『古典小説戯曲叢考』(作家出版社、一九五七)。

鄭振鐸著、吳曉玲整理『西諦書跋』(文物出版社、一九九八)。

鄧之誠著、鄧瑞点校『桑園読書記』(遼寧教育出版社、一九九八)。

戴不凡『小説見聞録』（木鐸出版社、一九八三）。

嚴紹璽『日本藏漢籍珍本追蹤紀実』（上海古籍出版社、二〇〇五）。

### 三 近人論著

#### （一）和文

浅見洋二、高橋文治、谷口高志『皇帝のいる文学史：中国文学概説』（大阪大学出版会、二〇一五）。

麻生磯次『江戸文学と中国文学』（三省堂、一九五七）。

秋月観暎著、丁培仁訳『中国近世道教の形成：浄明道の基礎研究』（中国社会科学出版社、二〇〇五）。

秋月観暎『中国近世道教の形成—浄明道の基礎的研究』（創文社、一九七八）。

荒木見悟『「四書湖南講」について』（『明代思想研究：明代における儒教と仏教の交流』創文社、一九七二）二九二～三二八頁。

新枝奈苗「聖姑姑から九天玄女へ：『三遂平妖伝』の改作をめぐって」（『中国中世文学研究』第二六号、一九九四年四月）四八～六二頁。

いしみのぞむ「曇陽子と牡丹亭老年の人・この曲のために惆悵す」（『中国 21』第二〇期特集『中国演劇におけるジェンダー』、二〇〇四年八月）八七～一一〇頁。

井上以智為「五岳真形図に就いて」（羽田亨編纂『支那学論叢——内藤博士還暦祝賀支那学論叢』弘文堂書房、一九二六）四三～九一頁。

井上進『明清学術変遷史』（平凡社、二〇一一）。

井上進『中国出版文化史：書物世界と知の風景』（名古屋大学出版会、二〇〇二）。

石井謙治『和船 II』（法政大学出版局、一九九五）。

石田秀実『気 流れる身体』（平河出版社、一九八七）。

石崎又造『近世日本に於ける支那俗語文学史』（弘文堂書房、一九四〇）。

磯部彰『『西遊記』資料の研究』（東北大学出版会、二〇〇七）。

磯部彰『『西遊記』受容史の研究』（多賀出版、一九九五）。

磯部彰『『西遊記』形成史の研究』（創文社、一九九三）。

磯部彰「読書人層の『西遊記』受容について——明後期の諸文芸との関係のめぐって」（『富山大学人文学部紀要』通号一二、一九八七）一五六～一九〇頁。

稲田篤信編『『水滸伝』の衝撃：東アジアにおける言語接触と文化受容』（勉誠出版、二〇一〇）。

今枝二郎「玄宗皇帝の道教理解について」（酒井忠夫編『台湾の宗教と中国文化』風響社、一九九二）一四五～一八五頁。

今枝二郎「杜光庭小考」（吉岡義豊博士還暦記念論集刊行会編『吉岡博士還暦記念道教研究論集：道教の思想と文化』国書刊行会、一九七七）五二三～五三二頁。

大木康『馮夢龍と明末俗文学』（汲古書院、二〇一八）。

大木康『明末江南の出版文化』（研文出版、二〇〇四）。

大木康「明清文学における道教・神仙思想に関する覚え書き」（『筑波中国文化論叢』二三、二〇〇三）五五～八五頁。

大木康『明末のはぐれ知識人：馮夢龍と蘇州文化』（講談社、一九九五）。

大澤顯浩「善書の文脈：伝承の生成と知識の階層性」（山根幸夫教授追悼記念論叢編集委員会『明代中国の歴史的位相：山根幸夫教授追悼記念論叢』汲古書院、二〇〇七）。

大塚秀高「天書と泰山：『宣和遺事』よりみる『水滸伝』成立の謎」（『東洋文化研究所紀要』第一四〇冊、二〇〇〇年十二月）一二三～一五五頁。

大庭脩『江戸時代における唐船持渡書の研究』（関西大学東西学術研究所、一九六七）。

大淵忍爾『道教史の研究』（岡山大学共済会書籍部、一九六四）。

小野四平『中国近世における短篇白話小説の研究』（評論社、一九七八）。中訳本は小野四平著、施小煒等訳『中国近代白話短篇小説研究』（上海古籍出版社、一九九七）。

加地伸行『儒教とは何か』（中央公論新社、二〇一五増補版）。

香取秀真編『日本古鏡図録』（東京鑄金会、一九一二）

亀田勝見「四庫全書所収『神仙伝』の資料的価値について」（吉川忠夫編『唐代の宗教』朋友書店、二〇〇〇）五〇九～五三一頁。

子安宣邦『平田篤胤の世界』（ぺりかん社、二〇〇九）。

子安宣邦『本居宣長』（岩波書店、一九九二）。

川勝守『三角縁神獣鏡と東アジア世界』（汲古書院、二〇一二）。

川勝守『日本国家の形成と東アジア世界』（吉川弘文館、二〇〇八）。

川勝守『日本近世と東アジア世界』（吉川弘文館、二〇〇〇）。

川勝守『東アジアにおける生産と流通の歴史社会学的研究』（中国書店、一九九三）。

金文京「晚明小説・類書作家鄧志謨生平初探」（辜美高、黄霖主編『明代小説面面觀：明代小説国際學術研討会』学林出版社、二〇〇二）。

楠山春樹「平田篤胤と道教」（『道家思想と道教』平河出版、一九九二。のち楠山春樹「平

- 田篤胤と道教『選集 道教と日本』第三卷、雄山閣、一九九七に収録）。
- 窪徳忠「東日本の媽祖信仰」（『アジア遊学』第四二号、二〇〇二年八月）。
- 窪徳忠「徳川光圀と媽祖」（『月刊しにか』第九卷第八号、一九九八年八月）。
- 窪徳忠「再び茨城県下に媽祖信仰を尋ねて」（『大正大学総合仏教研究所年報』第一九号、一九九七年三月）。
- 窪徳忠「茨城県に媽祖信仰を尋ねて」（『大正大学総合仏教研究所年報』第一八号、一九九六年三月）。
- 合山究『明清時代の女性と文学』（汲古書院、二〇〇六）。
- 小松謙『「水滸伝」諸本考』（『京都府立大学学術報告 人文』六八号、二〇一六年一二月）。
- 小松謙『「四大奇書」の研究』（汲古書院、二〇一〇）。
- 小松謙『中国歴史小説研究』（汲古書院、二〇〇一）。
- 小松謙『中国白話文学研究：演劇と小説の関わりから』（汲古書院、二〇一〇）。
- 小川琢治「近世西洋交通以前の支那地図に就いて」（『地学雑誌』第二五八卷、一九一〇、四〇七～四一八頁、のち『支那地理歴史研究 初集』弘文堂書房、一九二八、三二～四〇頁に収録）。
- 小川環樹『中国小説史の研究』（岩波書店、一九六八）。
- 小川陽一『日用類書による明清小説の研究』（研文出版、一九九五）。
- 小川陽一「中国小説における道教—とくに続金瓶梅と太上感應篇」（秋月観映編『道教研究のすすめ』平河出版社、一九八六）一一一～一二八頁。
- 小島毅『中国思想と宗教の奔流』（講談社、二〇〇五）。
- 小島毅『中国近世における礼の言説』（東京大学出版会、一九九六）。
- 小南一郎『中国の神話と物語り—古小説史の展開』（岩波書店、一九八四）。中訳本は、小南一郎著、孫昌武訳『中国的神話伝説与古小説』（中華書局、一九九三）。
- 小南一郎『西王母と七夕伝承』（平凡社、一九九一）。
- 小柳司気太「利瑪竇と明末の思想界」（『東洋思想の研究・続』森北書店、一九四三）一〇六～一〇七頁。
- 崔桓「明代類書 小説和鄧志謨」（『東亞人文学』第九輯、二〇〇六）一五三～一七一頁。
- 酒井忠夫『増補中国善書の研究』（国書刊行会、一九九九～二〇一二）。
- 酒井忠夫「篤胤の中国古典学—特に道教との関係」（『新修平田篤胤全集補遺五付録 月報二〇』名著出版、一九八〇）。
- 坂出祥伸『江戸期の道教崇拝者たち：谷口一雲・大江文坡・大神貫道・中山城山・平田篤胤』（汲古書院、二〇一五）。

坂出祥伸「平田篤胤による唐土太古傳復原の試み—『三五本図考』『春秋命歴序考』等の考察—」（『人文学論集』第三十二集、二〇一四）一～十五頁。

坂出祥伸「平田篤胤と道教 『赤県太古伝』『葛仙翁伝』（『特集第六十九回学術大会紀要』八四巻四号、二〇一一）一一六八～一一六九頁。

佐々木宗彦「南宋初期の忠義巡社について」（鈴木俊先生古稀記念東洋史論叢編集委員会編『東洋史論叢：鈴木俊先生古稀記念』山川出版社、一九七五）。

佐藤次男「徳川光圀と快風丸の蝦夷地探検について」（『水戸史学』第八号、水戸史学会、一九七八）八二～一〇三頁。

澤田瑞穂『宋明清小説叢考』（研文出版、二〇〇八）。

澤田瑞穂『仏教と中国文学』（国書刊行会、一九七五）。

杉村英治『望郷の詩僧：東皐心越』（三樹書房、一九八九）。

砂山稔「仙女と仙媛——沈宋の文学と道教」（宮澤正順博士古稀記念集刊行会編『宮澤正順博士古稀記念：東洋比較文化論集』青史出版、二〇〇四、所収）二三～三六頁。

砂山稔『赤壁と碧城—唐宋の文人と道教』（汲古書院、二〇一六）。

車柱環著、三浦国雄、野崎充彦訳『朝鮮の道教』（人文書院、一九九〇）。

仙石知子『『列女伝』研究序説：中国近世における流布と受容』（『東洋の思想と宗教』第三五号、二〇一八年三月）四五～六三頁。

仙石知子『明清小説における女性像の研究：族譜による分析を中心に』（汲古書院、二〇一一）。

高島俊男『水滸伝と日本人』（筑摩書房、二〇〇六）。

高島俊男『水滸伝の世界』（筑摩書房、二〇〇一）。

高島俊男『水滸伝の世界』（大修書館書店、一九八七）。

高山大毅『近世日本の「礼楽」と「修辞」——荻生徂徠以後の「接人」の制度構想』（東京大学出版会、二〇一六）。

但野正弘「吉野山・吉水神社蔵—徳川光圀と佐々木介三郎の書簡について—」（『水戸史学』第七一号、二〇〇九）。

谷省吾『平田篤胤の著述目録』（皇學館大學出版部、一九七六）。

田原嗣郎『平田篤胤』（吉川弘文館、一九六三）。

土屋昌明「平田篤胤の幽冥観と道教 神仙思想」（『専修大学人文科学年報』第三十四号、二〇〇四）。

土屋昌明「仙伝文学と道教」（福井文雅、山田利明、前田繁樹編集『道教と中国思想』雄山閣出版、二〇〇〇）一六八～一九二頁。

土屋昌明『『仙鑑』と『神仙伝』』（『国学院雑誌』第九七卷一一号、一九九六）一六六～一六七頁。

土屋昌明「四庫本『神仙伝』の性格及び構成要素——特に「陰長生伝」をめぐって」（『東方宗教』第八七号、一九九六）三九～五五頁。

妻木直良「日本に於ける道教思想」（『龍谷学報』第三〇六号、一九三三）二三～四四頁。

徳田武『近世近代小説と中国白話文学』（汲古書院、二〇〇四）。

中川和明「【史料紹介】平田家宛近江国平田門人書簡集：西川吉輔を中心に」（『書物・出版と社会変容』第十八号、二〇一五）一〇三～一二七頁。

中川和明「【史料紹介】平田家宛筑前国平田門人書簡集」（『書物・出版と社会変容』第十六号、二〇一四）一八五～二二〇頁。

中川和明「平田塾と地方国学の展開—武蔵国の神職を中心に—」（『書物・出版と社会変容』第十四号、二〇一三）六七～九二頁。

中川和明『平田国学の史的研究』（名著刊行会、二〇一二）。

中川和明「平田塾と地方国学の展開—備前国学を例に—」（『書物・出版と社会変容』第十一号、二〇一一）八九～一一四頁。

中川和明「平田篤胤『古道大意』形成刊行」（『日本思想史学』第三七号、二〇〇五）一七三～一八九頁。

中嶋隆蔵『雲笈七籤の基礎的研究』（研文出版、二〇〇四）。

中野美代子著、劉俊民、王秀文等訳『西遊記的秘密（外兩種）』（中華書局、二〇〇二）。

中鉢雅量『中国小説史研究—水滸伝を中心として』（汲古書院、一九九六）。

中鉢雅量『中国の祭礼と文学』（創文社、一九八九）。

中村幸彦『中村幸彦著述集（第七卷）近世比較文学攷』（中央公論社、一九八四）。

中村幸彦「林羅山の翻訳文学——「化女集」・「狐媚鈔」を主として」（『文学研究』六一期、一九六三年三月）一三五～一四七頁。のち『中村幸彦著述集』第六冊（中央公論社、一九八二、七～二九頁に収録）。

中村璋八『五行大義校註』（汲古書院、一九九八年増補版）。

名越時正「まぼろしの探検船」（『史窓』第二二号、茨城県立水戸第一高等学校史学会、一九七〇）三二～三八頁。

永井政之「東皐心越事蹟考」（『駒沢大学仏教学部研究紀要』第七三期、二〇一五年三月）一～二七頁。

永井政之「東皐心越と関帝信仰：『覺世真経』と金印の将来」（『駒沢大学仏教学部研究紀要』第七一期、二〇一三年三月）一～四四頁。

永井政之「高羅佩と東皐心越：『東皐禪師集刊』の刊行をめぐって」（『駒沢大学仏教学部研究紀要』第七〇期、二〇一二年三月）一～四一頁。

永井政之「曹洞宗寿昌派の成立と展開：寿昌正統録本文の紹介、附年譜」（『駒沢大学仏教学部論集』第十八期、一九八七年十月）二二〇～二六九頁。

永井政之「明清における曹洞禪者の動向-2-」（『宗学研究（駒沢大学曹洞宗宗学研究所創立三十周年記念）』第二六期、一九八四年三月）二〇一～二二〇頁。

永井政之「明清における曹洞禪者の動向」（『宗学研究』第二五期、一九八三年三月）二〇六～二二五頁。

永井政之「東皐心越研究序説」（『禪宗の諸問題』、雄山閣、一九七九）三百六十五～三百八十五頁。

永井政之「東皐心越の来朝をめぐる諸問題」（『宗学研究』第二〇期、一九七八年三月）一三九～一四四頁。

西尾和子『太平広記研究』（汲古書院、二〇一七）。

西川如見『増補華夷通商考』（西川求林斎輯『西川如見遺書』西川忠亮出版、一八九九）。

二階堂善弘『明清期における武神と神仙の発展』（関西大学出版部、二〇〇九）。

二階堂善弘『道教・民間信仰における元帥神の変容』（関西大学出版部、二〇〇六）。

二階堂善弘『通俗文学と道教』（福井文雅・山田利明・前田繁樹編集『道教と中国思想』雄山閣出版、二〇〇〇）一五二～一六七頁。

窪徳忠・野口鉄郎編『選集 道教と日本 3 中世・近世文化と道教』（雄山閣、一九九七）。

温水三男「北宋政権樹立考：主に建国期の禁軍改編を中心として」（『待兼山論叢（史学篇）』五、一九七二）四五～六九頁。

蜂屋邦夫『金元時代の道教：七真研究』（汲古書院、一九九八）。

蜂屋邦夫著、欽偉剛訳『金代道教研究：王重陽与馬丹陽 上篇「論考」』（中国社会科学出版社、二〇〇七）。

長谷川泰生『東坡禪喜集の成立について』（花園大学『禅学研究』第七六号、一九九八年三月）九一～一〇七頁。

濱島敦俊「明清江南城隍考」（『中国都市の歴史的研究』、『唐代史研究会論文集VI』刀水書房、一九八八）。

濱島敦俊著、朱海濱訳『明清江南農村社会与民間信仰』（廈門大学出版社、二〇〇八）。

福井康順「解題神仙伝」（『福井康順著作集』巻二『道教思想研究』法蔵館、一九八七）二一六～二六〇頁。

福井康順「神仙伝」（『福井康順著作集』巻二『道教思想研究』法蔵館、一九八七）一八一～二一五頁。

福井康順「列仙伝」（『福井康順著作集』巻二『道教思想研究』法蔵館、一九八七）一五一～一八〇頁。

福井康順・山崎宏・木村英一・酒井忠夫監修『道教』（平河社、一九八三）。

福井康順『道教の基礎的研究』（書籍文物流通会、一九五二）。

福井文雅『漢字文化圏の思想と宗教—儒教、仏教、道教』（五曜書房、一九九八）。

福永光司『道教と日本思想』（徳間書店、一九八五）。

藤田明良「日本近世における古媽祖像と船玉神の信仰」（黄自進主編『近現代日本社会的蛻変』、中央研究院人文社会科学研究センター・亜太区域研究専門センター、二〇〇六）。

夫馬進『中国善会善堂史研究』（同朋舎出版、一九九七）。

幣旗佐江子『『狐媚叢談』と『狐媚鈔』をめぐって』（『久留米大学大学院比較文化研究論集』第一八期、二〇〇五年十一月）一五～三〇頁。

堀誠「九天玄女考—通俗小説における女神像—」（『中国文学研究』第二四号、一九九八年十二月）五二～六四頁。

前田勉「平田篤胤の講釈—『伊吹於呂志』を中心に—」（『江戸教育思想史研究』思文閣、二〇一六）。

増尾伸一郎『道教と中国撰述佛典』（汲古書院、二〇一七）。

増尾伸一郎『日本古代の典籍と宗教文化』（吉川弘文館、二〇一五）。

増尾伸一郎「東アジアにおける道教の伝播」（鈴木靖民編『古代日本の異文化交流』勉誠出版社、二〇〇八）。

増尾伸一郎『万葉歌人と中国思想』（吉川弘文館、一九九七）。

松本浩一『宋代の道教と民間信仰』（汲古書院、二〇〇六）。

丸山浩明『明清章回小説研究』（汲古書院、二〇〇三）。

間野潜龍『明代文化史研究』（同朋舎、一九七九）。

森正夫『森正夫明清史論集』第三巻『地域社会・研究方法』（汲古書院、二〇〇六）。

森瑞枝「平田篤胤と「五岳真形図」」（斎藤龍一・鈴木健郎・土屋昌明編『道教美術の可能性』勉誠出版、二〇一〇）。

森由利亜「『純陽帝君神化妙通紀』に見える全眞教的な特徴について」（『東洋の思想と宗教』第九号、一九九二年六月）。

森由利亜「宋代における呂洞賓説話に関する一試論」、『（早稲田大学大学院文学研究科紀要）別冊一七哲学・史学編、一九九〇）。

馬淵昌也「明代後期儒家士大夫の「道教」受容について」（山田利明・田中文雄編『道教の歴史と文化』雄山閣出版株式会社、一九九八）二七五～二九六頁。

- 宮川尚志『中国宗教史研究』（同朋社、一九八三）。
- 宮川尚志「明の嘉靖時期の道教」（吉岡義豊博士還暦記念論集刊行会編『吉岡博士還暦記念道教研究論集：道教の思想と文化』国書刊行会、一九七七）六三一～六四四頁。
- 宮崎市定『水滸伝：虚構のなかの史実』（中央公論新社、二〇一七改版）。
- 宮崎市定『水滸伝—虚構のなかの史実』（中公文庫、一九九三）。
- 宮地正人『幕末維新期の社会的政治史研究』（岩波書店、一九九九）。
- 三浦国雄「洞天福地小考」（『風水—中国人のトポス』平凡社、一九九五）七〇～一一二頁。
- 三浦秀一『中国心学の稜線—元朝の知識人と儒道仏三教—』（研文出版、二〇〇三）。
- 三浦秀一「『真誥』 俞安期本成立の時代的情況—万暦の知識人と道教—」（吉川忠夫編『中国古道教史研究』同朋舎出版、一九九一）五一～五六四頁。
- 三ツ松誠『嘉永期の気吹舎—平田篤胤と「幽界物語」』（『日本史研究』五九六号、二〇一二）。
- 村岡典嗣『日本思想史研究 第3巻 宣長と篤胤』（創文社、一九五七）。
- 安居香山『緯書と中国の神秘思想』（平河出版社、一九八八）。
- 安居香山『中国神秘思想の日本への展開』（大正大学出版部、一九八三）。
- 安居香山「平田篤胤の緯書学——春秋命歴序攷を中心として」（吉岡義豊博士還暦記念論集刊行会編『道教研究論集：道教の思想と文化 吉岡博士還暦記念』国書刊行会、一九七七）。
- 安居香山「道藏に於ける黄帝伝の考察—特に広黄帝本行託を中心として—」（『東方宗教』一三、一四号、一九五八年七月）四九～六四頁。
- 安居香山「史記に見る黄帝の問題：特に司馬遷の黄帝の取り扱い方を中心として」（『漢文学会々報』一四巻、一九五三年六月）一五～一九頁。
- 安居香山「緯書における地理的世界観の考察：特に大九州説について」（『漢文学会々報』二十巻、一九六一）一～一一頁。
- 山田孝雄『平田篤胤』（宝文館、一九四二）。
- 山田俊『「洞神經」の基礎的研究』（熊本県立大学、二〇〇九）。
- 山田利明「二つの神符—「靈宝五符」と「五岳真形図」—」（『東洋大学東洋学論叢』第八巻、一九八七）一四七～一六五頁。
- 山本紀綱『長崎唐人屋敷』（謙光社、一九八三）。
- 横手裕『道教の歴史』（山川出版社、二〇一五）。
- 横手裕「一人で行う亡魂救済—鄭思肖の太極祭鍊内法—」（『アジア遊学』第一一〇、二〇〇八）一一七～一三五頁。
- 横手裕「張宇初の齋法観とその周辺——南昌派考察序説」（小林正美『道教の齋法儀礼の思

想史的研究』所収、二〇〇六）。

横手裕「白玉蟾と南宋江南道教」（『東方学報』第六八冊、一九九六）。

吉岡義豊『吉岡義豊著作集』第四卷（五月書房、一九八九）。

吉川忠夫「僧を改めて徳士と為す—北宋徽宗時代の仏法受難」（『禅学研究』七九号、二〇〇〇）一七九～一九八頁。

吉川忠夫「五岳と祭祀」（清水哲郎編『ゼロ・ビットの世界』岩波書店、一九九一）。

吉田麻子『平田篤胤』（平凡社、二〇一六）。

吉田麻子『知の共鳴—平田篤胤をめぐる書物の社会史』（ぺりかん社、二〇一二）。

吉田麻子「幕末維新期の東信州と平田国学」（『日本思想史学』第四〇号、二〇〇八）九七～一一五頁。

吉田麻子「平田篤胤『古今妖魅考』の出版事情」（『書物・出版と社会変容』一号、二〇〇六）一二四～一四二頁。

吉田麻子「国学者平田篤胤の著書とその広がり」（『国際日本文学研究集会会議録』第28期、二〇〇五）七七～九五頁。

吉田麻子「気吹舎の著述出版—新出『気吹舎日記』を中心に—」（『近世文義』第七十五号、二〇〇二）。

吉田真樹『再発見 日本の哲学 平田篤胤靈魂のゆくえ』（講談社、二〇一七）。

李猷璋『長崎唐人の研究』（親和銀行、一九九一）。

李猷璋『媽祖信仰の研究』（泰山文物社、一九七九）。

渡辺金造『平田篤胤研究』（六甲書房、一九四二）。

## （二）中文

于君方著、余淑慧訳「比丘尼何以神聖？」（李豊楸・廖肇亨主編『聖伝与詩禅——中国文学与宗教論集』中央研究院中国文哲研究所、二〇〇七、所収）。

于君方著、陳懷宇、姚崇新、林佩瑩訳『観音：菩薩中国化的演变』（法鼓文化、二〇〇九）。

于志嘉「日本明清史学界对「士大夫与民衆」問題之研究」（『新史学』第四卷第四期、一九九三）一四一～一七五頁。

卞孝萱『唐代小説与政治』（鷺江出版社、二〇〇三）。

方韻慈『道法与宗法：杜光庭『墉城集仙録』女性倫理觀之考察』（国立台湾大学中国文学系博士論文、二〇一八）。

方玲「中国古代的女仙—道教与女丹」（『漢学研究通訊』第一一卷第三期、一九九二）二〇八～二〇九頁。

方勝「評道教小説『韓湘子全伝』（『明清小説研究』第二期、一九九〇）。

毛文芳『物・性別・觀看——明末清初文化書写新探』（台湾学生書局、二〇〇一）。

水鏡君・瑪利亞雅紹克（Maria Jaschok）「性別・宗教・小伝統経歌与河南穆斯林婦女的民国記憶」（游鑑明・羅梅君・史明主編、洪靜宜・宋少鵬等訳『共和時代的中国婦女』左岸文化出版、二〇〇七）四〇三～四五〇頁。

王日根『明清民間社会的秩序』（岳麓書局、二〇〇三）。

王利器著、李雲訳「真誥と讖緯」（中村璋八編『緯学研究論叢：安居香山博士追悼』平河出版社、一九九三）。

王利器「讖緯五論」（安居香山編『讖緯思想の綜合的研究』国書刊行会、一九八四）。

王利器『水滸研究』（木鐸出版社、一九八三）。

王承文『漢晋道教儀式与古靈宝經研究』（中国社会科学出版社、二〇一七）。

王承文「論古靈宝經天文和神符の淵源—以『太上洞玄靈宝五符序』的积読為中心」（『中古時代的礼儀、宗教与制度』上海古籍出版社、二〇一二）。

王承文「古靈宝經中天文和符图的积読与研究」（香港中文大学道教研究中心、法国遠東学院編『「道教研究の新視野：道教与中国文化及社会的關係」國際學術研討会論文集』、二〇〇九）。

王承文「靈宝天文信仰と古靈宝經教義の展開—敦煌本『太上洞玄靈宝真文度人本行妙經』を中心に—」（日本京都大学人文科学研究所編『中国宗教文献研究』臨川書店、二〇〇七）。

王承文『敦煌古靈宝經与晋唐道教』（中華書局、二〇〇二）。

王青『漢朝の本土宗教与神話』（洪葉文化、一九九八）。

王青「道教伝経儀式与『漢武帝内伝』（『宗教学研究』三、四期、一九九二）五二～五八頁。

王崗「作為聖伝の小説、以編刊芸文伝道」（蓋建民『開拓者の足跡—卿希泰先生八十寿辰紀念文集』巴蜀書社、二〇一〇）四六七～四七九頁。

王崗「明代王侯与道教關係探究：以蘭州和昆明為例」（黎志添主編『道教研究与中国宗教文化』中華書局、二〇〇三、所収）一五二～二一三頁。

王崗『浪漫情感与宗教精神：晚明文学与文化思潮』（天地圖書、一九九九）。

王寿南「唐代公主之婚姻」（『中国婦女史論文集』第二輯、商務印書館、一九八八）九〇～一四四頁。

王夢鷗『伝奇』校補考釈」（『唐人小説研究』芸文印書館、一九七八）。

- 王德威『歴史与怪獣：歴史・暴力・叙事』（麦田出版、二〇〇四）。
- 玄珠（茅盾）『中国神話研究 ABC』（上海書店、一九九二）。
- 白以文『晚明仙伝小説之研究』（国立政治大学中国文学系博士論文、二〇〇六）。
- 任繼愈主編『中国道教史』（桂冠図書公司、一九九一）。
- 任繼愈主編『儒教問題争論集』（宗教文化出版社、二〇〇〇）。
- 伍偉民・蔣見元『道教文学三十談』（上海社会科学院出版社、一九九三）。
- 衣若蘭『三姑六婆——明代婦女与社会的探索』（稻郷出版社、二〇〇二）。
- 余英時『中国近世宗教倫理与商人精神』（聯経出版事業公司、二〇〇一）。
- 余英時『中国歴史轉型時代の知識分子』（聯経出版事業公司、一九九二）。
- 余国藩著、李爽学訳「宗教与中国文学——論『西遊記』の「玄道」」（『文学与宗教——第一屆國際文学与宗教』時報文化出版企業有限公司、一九八七）。
- 余国藩著、李爽学訳『余国藩西遊記論集』（聯経出版事業公司、一九八七）。
- 作家出版社編輯部編『水滸研究論文集』（作家出版社、一九五七）。
- 吳光正「二十世紀大陸地區「道教与古代文学」研究述評」（『思与言』第九期、二〇〇六年十二月）四三一～四九〇頁。
- 吳宣德『明代進士の地理分布』（香港中文大学出版社、二〇〇八）。
- 吳碧貞『唐代女仙伝記之研究——以『墉城集仙録』為主的考察』（国立政治大学中国文学系碩士論文、一九九七）。
- 吳震「附録中国善書在近世日本の流衍及其影響——以顏茂猷与中江藤樹的思想交渉為中心」（『顏茂猷思想研究』東方出版社、二〇一五）。
- 吳蕙芳「評介小川陽一著『日用類書による明清小説の研究』（『中央研究院近代史研究所集刊』二八期、一九九七）二五三～二五七頁。
- 呂妙芬『陽明學士人社群：歴史・思想与实践』（中央研究院近代史研究所、二〇〇三）。
- 呂武志『「文心雕龍」与『抱朴子』文論』（『師大學報：人文与社会科学類』第四三卷第一期、一九九八）一～一四頁。
- 宋珂君『「韓湘子全伝」の情節模式与佛伝故事淵源辨析』（『明清小説研究』第三期、二〇〇〇）。
- 宋莉華「插图与明清小説の閱讀与伝播」（『文学遺産』第四期、二〇〇〇）。
- 宋莉華『明清時期の小説伝播』（中国社会科学出版社、二〇〇四）。
- 岑仲勉『唐史余藩』（鼎文書局、一九七三）。
- 巫仁恕「妖婦」乎？「女仙」乎？——論明代山東唐賽兒的形象轉變」（『無声之声（I）：近代中国的婦女与国家（一六〇〇～一九五〇年）』中研院近史所、二〇〇二）一～

三七頁。

李玉珍「中国婦女与仏教」(李貞徳編『中国史新論性別史分冊』聯経出版公司、二〇〇九) 四六三～四九二頁。

李玉珍「仏教的女性・女性的仏教——近二十年来仏教の仏教婦女研究」(『近代中国婦女史研究』第一〇期、二〇〇二)一四七～一七六頁。

李玉珍『唐代的比丘尼』(台湾学生書局、一九八九)。

李秀娟「元代の幾位女冠」(『道教学探索 四』、一九九一)三九八～四〇六頁。

李忠明「明末通俗小説刊刻中心の三次轉移与小説風格的轉變」(朱万曙・徐道彬編『明代文学与地域文化研究』黄山書社、二〇〇五)。

李貞徳「宗教与性別——佛教与中国女性」(『中国史新論：宗教篇与性別篇』、二〇〇七)一～三頁。

李貞徳「最近中国宗教史研究中的女性問題」(『近代中国婦女史』第二期、一九九四年六月) 二六六頁。

李貞徳『女人的中国医療史——漢唐之間的健康照顧与性別』(三民書局、二〇〇八)。

李貞徳・梁其姿主編「導言」、『婦女与社会』(『台湾学者中国史研究論叢』中国大百科全书出版社、二〇〇五)一～一〇頁。

李劍国『中国狐文化』(人民文学出版社、二〇〇二)。

李劍国『唐五代志怪伝奇叙録』(南開大学出版社、一九九三)。

李劍国『唐前志怪小説史』(南開大学出版社、一九八四)。

李爽学「三面瑪利亞：論高一志『聖母行実』裏の聖母奇跡故事的の跨国流変及其意義」(『中国文哲研究集刊』第三四期、二〇〇九年三月) 五三～一一〇頁。

李爽学『中国晚明与欧洲文学：明末耶穌会西洋古典型証道故事考證』(中央研究院及聯経出版公司聯合出版、二〇〇五)。

李爽学「中国晚明与西方中世紀—論明末耶穌会古典型証道故事的時空与文化背景」(李豐楙、劉苑如主編『空間・地域与文化——中国文化空間的書写与闡釈』中央研究院中国文哲研究所、二〇〇二) 八八五～九三六頁。

李豐楙「從玄女到九天玄女——一位上古女仙的本相与變相」(『興大中文学報增刊』二七期、二〇一〇年六月) 一七～五四頁。

李豐楙「出身与修行：明代小説謫凡叙述模式的形成及其宗教意識——以『水滸伝』、『西遊記』為主」(『国文学誌』第七期、二〇〇三年十二月) 八五～一一四頁。

李豐楙「多面王母・王公与昆侖・方諸聖境：從古神話到六朝上清經派空間神話的考察」(李豐楙・劉苑如主編『空間・地域与文化——中国文化空間的書写与闡釈』中央研究所中国文哲研究所、二〇〇二) 四二～一三二頁。

- 李豐楙「救劫与度劫：道教与明末民間宗教的末世性格」（黎志添主編『道教与民間宗教研究論集』学峰文化出版社、一九九九）四〇～七二頁。
- 李豐楙『許遜与薩守堅：鄧志謨小説研究』（台湾学生書局、一九九七）。
- 李豐楙「洞仙伝研究」（『憂与遊：六朝隋唐仙道類小説研究』台湾学生書局、一九九七）、一八七～一八九頁。
- 李豐楙『誤入与降謫：六朝与隋唐道教文学論集』（台湾学生書局、一九九六）。
- 李豐楙『六朝隋唐仙道類小説研究』（台湾学生書局、一九八六）。
- 李豐楙『魏晋南北朝文士与道教關係』（国立政治大学中文研究所博士論文、一九七八）。
- 李豐楙、劉苑如「『聖伝与詩禪——中国文学与宗教論集』導言一」（李豐楙・廖肇亨主編『聖伝与詩禪——中国文学与宗教論集』中央研究院中国文哲研究所、二〇〇七）。
- 李麗涼「黄元吉の仙道超越思想：以『樂育堂語録』為主的研究」（『文与哲』第一〇期、二〇〇七年六月）四四七～四八一頁。
- 杜慧卿「道教女神・女仙觀念之演變」（『道教学探索 九』、一九九五）四一三～四二四頁。
- 沈伯俊『水滸研究論文集』（中華書局、一九九四）。
- 車錫倫「東岳泰山女神——泰山老奶奶」（『中国宝卷研究論集』学海出版社、一九九七）一七九～一九八頁。
- 周心慧、王致軍『徽派・武林・蘇州版画集』（学苑出版社、二〇〇〇）。
- 周生春『吳越春秋輯校彙考』（上海古籍出版社、一九九七）。
- 周先慎『明清小説』（北京大学出版社、二〇〇三）。
- 周次吉『唐碑誌所見女子身份与生活之研究』（政治大学中国文学研究所博士論文、一九九一）。
- 周蕪『徽州版画史論集』（安徽人民出版社、一九八三）。
- 周蕪等編著『日本藏中国古版画珍品』（江蘇美術出版社、一九九九）。
- 昌彼得『說郭考』（文史哲出版社、一九七九）。
- 林帥月「道教文学一詞の界定及範疇」（『中国文哲研究通訊』卷六第一期、一九九六年三月）一五七～一六六頁。
- 林雪鈴『唐詩中的女冠』（文津出版社有限公司、二〇〇二）。
- 林富士『中国中古時期的宗教与医療』（聯經出版公司、二〇〇八）。
- 林富士「台湾地区的道教研究總論及書目（一九四五～二〇〇〇）」（『古今論衡』第一六期、二〇〇七）四～七二頁。
- 林富士『疾病終結者：中国早期的道教医学』（三民書局、二〇〇一）。
- 林富士「欧美地区的「道教研究」概述（一九五〇～一九九四）」（『台湾宗教学会通訊』第六期、二〇〇〇年九月）二九～八八頁。

- 林富士「法国对中国道教的研究」(戴仁(Jean-Pierre Drège)主編、耿昇訳『法国当代中国学(Cinquante ans d'études chinoises en France)』中国社会科学出版社、一九九八、所収)二六九～三一〇頁。
- 林富士「六朝時期民間社会所祀「女性人鬼」初探」(『新史学』第七卷第四期、一九九六)九五～一一七頁。
- 林富士『漢代の巫者』(稻郷出版社、一九八八)。
- 林智莉「屠隆之信仰与生命觀—以〈修文記〉為核心探討」(『台湾師大學報』、二〇一一)九七～一三〇頁。
- 林聖智「明代道教圖像学研究—以『玄帝瑞応図』為例」(『国立台湾大学美術史研究集刊』第六期、一九九九)一七五～一七六頁。
- 林鶴宜「晚明戲曲の刊行」(『晚明戲曲戲種及声腔研究』学海出版社、一九九四)八三～一二六頁。
- 河北省文物研究所定州漢簡整理小組「定州西漢中山懷王墓竹簡〈文子釈文〉」(『文物』第一二期、一九九五)二七～三四頁。
- 邱振声『水滸伝縦横談』(広西教育出版社、一九九二)。
- 姚政治『宋代東岳信仰研究』(政治大学、二〇一七)。
- 姜守誠・張海瀾『道教女仙考』(中州古籍出版社、二〇一九)。
- 柳存仁「關於王母壽」(饒宗頤主編『華学』第九、十輯、上海古籍出版社、二〇〇八)一四六二～一四六八頁。
- 柳存仁『道教史探源』(北京大学出版社、二〇〇〇)。
- 柳存仁『道家与道術：和風堂文集続編』(上海古籍出版社、一九九九)。
- 柳存仁『和風堂新文集』(新文豊出版公司、一九九七)。
- 柳存仁「民国以来之道教史研究」(『民国以來之国史研究の回顧与展望研討会論文集』国立台湾大学出版組、一九九二)一五一九～一五四六頁。
- 柳存仁『和風堂文集』(上海古籍出版社、一九九一)。
- 胡寄馨『明代郷紳—兼論中国士大夫階層之形成』(『社会科学』四卷一期、一九四八年三月)。
- 胡適『水滸伝与紅樓夢』(遠流出版社、一九八六)。
- 苟波『仙境・仙人・仙夢：中国古代小説中の道教理想主義』(巴蜀書社、二〇〇八)。
- 苟波『道教与神魔小説』(巴蜀書社、一九九九)。
- 郁賢皓「李白与玉真公主過從新探」・「再談李白詩中「衛尉張卿」和「玉真公主別館」」(『李白与唐代文史考論』第一卷『李白叢考』南京師範大学出版社、二〇〇八、所収)。
- 卿希泰主編『道教与中国伝統文化』(福建人民出版社、一九九〇)。

- 卿希泰主編『中国道教史』(四川人民出版社、一九八八)。
- 卿希泰『中国道教思想史綱』(木鐸出版社、一九八六)。
- 唐長孺「魏晉期間北方天師道的傳播」(『魏晉南北朝史論拾遺』中華書局、一九八三)。
- 夏述貴著、小川隆訳「識緯の学と漢晉の志怪小説」(中村璋八編『緯学研究論叢：安居香山博士追悼』平河出版社、一九九三)。
- 孫克寬『寒原道論』(聯經出版事業公司、一九七七)。
- 孫克寬『元代道教之發展—宋元道教之發展下冊』(私立東海大学、一九六八)。
- 孫克寬『宋元道教之發展』(私立東海大学、一九六五)。
- 孫昌武『道教与唐代文学』(人民文学出版社、二〇〇一)。
- 容与堂『明容与堂刻水浒传』(上海人民出版社、一九七五)。
- 徐兆安「十六世紀文壇中的宗教修養——屠隆与王世貞的来往(一五七七～一五九〇)」(『漢学研究』第三〇卷第一期、二〇一二)二〇五～二三八頁。
- 徐兆安「証驗与博聞：万歷朝文人王世貞、屠隆与胡應麟的神仙書写与道教文献評論」(『中国文化研究所学報』五三期、二〇一一)二四九～二七七頁。
- 徐志平、黃錦珠『明清小説』(文津出版社、一九九七)。
- 徐秀芳『宋代士族婦女的婚姻生活——以人際關係為中心』(台灣師範大学歴史研究所博士論文、二〇〇一)。
- 徐林『明代中晚期江南士人社会交往研究』(上海古籍出版社、二〇〇六)。
- 徐復觀「文心雕龍の文体論」(『中国文学論集』台湾学生書局、一九九〇)。
- 徐興慶「心越禪師と徳川光圀の思想変遷試論——朱舜水思想との比較において」(『日本漢文学研究』第三期、二〇〇八年三月)三一三～三五六頁。
- 皋於厚『韓湘子全伝』漫議」(『明清小説研究』第一期、一九九二)。
- 祝平一「辟妄醒迷：明清之際的天主教与“迷信”的建構」(『中央研究院歴史語言研究所集刊』八四号、二〇一三)六九五～七五二頁。
- 袁珂『中国神話史』(重慶出版社、二〇〇七)。
- 郝潤華「關於柳芳的『唐歴』」(『中国史研究』第二期總一〇二期、二〇〇一)六五～七二頁。
- 馬幼垣『水滸二論』(聯經出版事業公司、二〇〇五)。
- 商伝「試論晚明的歴史地位」(田澍・王玉祥・杜常順主編『第十一屆明史国際學術研討会論文集』天津古籍出版社、二〇〇七)。
- 商伝『明代文化史』(東方中心出版社、二〇〇七)。
- 張仲礼『中国紳士——關於其在十九世紀中国社会中的作用的研究』(上海社会科学院、一九九八)。

- 張伯偉「『東坡禪喜集』的文化價值」（『中華讀書報』二〇〇四年一二月二二日）。
- 張秀民「明清写工刻工印工及其事略」（『中国出版史料』湖北教育出版社、山東教育出版社、二〇〇四）二〇三～二二三頁。
- 張秀民『張秀民印刷史論文集』（印刷工業出版社、一九八八）。
- 張松輝『唐宋道家道教与文学』（湖南師範大学出版社、一九九八）。
- 張松輝『漢魏六朝道教与文学』（湖南師範大学出版社、一九九六）。
- 張振鐸『古籍刻工名錄』（上海書店出版社、一九九六）。
- 張珣「幾種道經中对女人身体之描述初探」（李豐楙・朱榮貴主編『性別・神格与台湾宗教論述』中央研究院中国文哲研究所籌備處、一九九七）三三～六八頁。
- 張國標『徽派版画』（安徽人民出版社、二〇〇五）。
- 張勛燎・白彬『中国道教考古』第六冊（北京：線裝書局、二〇〇六）。
- 張超然『系譜・教法及其整合：東晋南朝道教上清經派的基礎研究』（政治大学博士学位論文、二〇〇八）。
- 張德建『明代山人文学研究』（湖南人民出版社、二〇〇五）。
- 張芸曦「明中晚期江右儒学士人与淨明道的交涉——兼論『淨明忠孝全書』的影響」（『明代研究』二十期、二〇一三）一～三三頁。
- 張芸曦「飛升出世的期待：明中晚期士人与龍沙讖」（『新史學』二二卷一期、二〇一一年三月）一～五七頁。
- 曹婉如、鄭錫煌「試論道教的五岳真形圖」（『自然科学史研究』第六卷一期、一九八七年）五二～五七頁。
- 曹飛「万寿宮歷史淵源考—金元真大道教宮觀在山西的孤例」（『山西師大學報(社会科学版)』第三一卷第一期、二〇〇四年一月）八〇～八五頁。
- 梁其姿『施善与教化』（聯經出版事業公司、一九九七）。
- 莊宏誼『明代道教正一派』（台灣學生書局、一九八六）。
- 許地山『扶箕迷信的研究』（台灣商務印書館、一九八六）。
- 許蔚「「如意丹方」与淨明道医藥傳統的生成」（『道教研究學報：宗教、歷史与社会』三期、二〇一一）四九～八二頁。
- 許蔚「淨明道祖師圖像研究——以『許太史真君圖傳』為中心」（『漢學研究』第二九卷第一期、二〇一一）一一九～一五二頁。
- 許蔚『断裂与建構：淨明道的歷史与文獻』（上海書店出版社、二〇一四）。
- 郭佩蘭「性別研究与中国宗教傳統」（張妙清・葉漢明・郭佩蘭合編『性別學与婦女研究—華人社會的探索』中文大学出版社、一九九五）一五一～一七〇頁。

- 郭培貴『明代科挙史事編年考証』（科学出版社、二〇〇八）。
- 郭雅鈴『女冠・女仙与唐代社会』（東海大学歴史学系碩士論文、二〇〇二）。
- 陳大康『明代小説史』（上海文芸出版社、二〇〇〇）。
- 陳大康『明代商賈与世風』（上海文芸出版社、一九九六）。
- 陳垣「宗教文化史の奠基者——道森」（陳垣・耿相新主編『新史学 第六輯（宗教文化史）』大象出版社、二〇〇六）一～七頁。
- 陳垣『南宋初河北新道教考』（『陳援庵先生全集 第八冊』新文豐出版公司、一九九三）。
- 陳垣『明季滇黔仏教考』（中華書局、一九六二）。
- 陳弱水『唐代的婦女文化与家庭生活』（允晨文化実業股份有限公司、二〇〇七）。
- 陳国符『道藏源流考』（中華書局、一九八九）。
- 陳寅恪「天師道与濱海地域之關係」（『陳寅恪史学論文選集』上海古籍出版社、一九九二）。
- 陳寅恪『金明館叢稿二編』（里仁書局、一九八一）。
- 陳槃「古讖緯札記」（安居香山編『讖緯思想の綜合的研究』国書刊行会、一九八四、所収）。
- 陳麗宇『韓湘子研究』（国立台湾師範大学碩士論文、一九八八）一〇二～一〇七頁。
- 陳宝良『明代儒学生員与地方社会』（中国社会科学出版社、二〇〇五）。
- 陳宝良『上帝的使徒——明末清初的耶穌会士』（万卷楼、二〇〇一）。
- 陶希聖編『明代宗教』（台湾学生書局、一九六八）。
- 陶敏「劉禹錫詩中九仙公主考」（『雲夢学刊』、二〇〇一年九月）五四～五八頁。
- 陸林「金聖歎早期扶乩降神活動考論」（『知非集』黄山書社、二〇〇六）一五七～一八二頁。
- 傅衣凌「明清封建各階級的社会構成」（『中国社会經濟史研究』一期、一九八二）。
- 曾召南「南宋初河北新道教考的幾点補正」（『宗教学研究道教研究』第三期、一九九六）。
- 曾瑞龍『經略幽燕 979-987：宋遼戰爭軍事災難的戰略分析』（香港中文大学、二〇〇三）。
- 游鑑明、胡纓、季家珍(Joan Judge)『重讀中国女性生命故事』（五南圖書、二〇一一）二八七～三一四頁。
- 湯綱・南炳文『明史』（上海人民出版社、二〇〇三）。
- 程国賦『明代書坊与小説研究』（中華書局、二〇〇八）。
- 程国賦「明代小説読者と通俗小説刊刻之關係闡析」（『文芸研究』第七期、二〇〇七）。
- 程毅中「九仙媛考」（中華書局編輯部『学林漫録』十六集、中華書局、二〇〇七）。
- 程毅中『唐代小説史話』（文化芸術出版社、一九九〇）。
- 賀晏然『曇陽子信仰の建立兼論晚明文人宗教的特点』（新加坡国立大学博士論文、二〇一五）。
- 黃士珊「写真山之形：從「山水図」、「山水画」談道教山水觀之視覺型塑」（『故宮學術季刊』

第三一卷第四期、二〇一四年)一二一～二〇四頁。

黃啓江「兩宋社会菁英家庭婦女仙教信仰之再思考（下）」（『法鼓仙學學報』第三期、二〇〇八年十二月）二三三～二七九頁。

黃啓江「兩宋社会菁英家庭婦女仙教信仰之再思考（上）」（『法鼓仙學學報』第二期、二〇〇八年六月）一六三～二四六頁。

廖肇亨『忠義菩提：晚明清初空門遺民及其節義論述探析』（中央研究院中國文哲研究所、二〇一三）。

廖肇亨「四海斯文自一家：江戸前期日本儒者詩文中的世界圖像」（『域外漢籍研究集刊』第五輯、中華書局、二〇〇九）二五九～二八〇頁。

廖肇亨『明末清初遺民逃禪之風研究』（國立台灣大學中國文學系碩士論文、一九九四）。

楊建波『道教文學史論稿』（武漢出版社、二〇〇一）。

楊莉「「謝自然」伝与「謝自然」詩——在神聖与凡俗兩界尋求意義的建構」、收入（『聖伝与詩禪』中央研究院中國文哲研究所、二〇〇七）四四三～四八四頁。

楊莉「鮑姑火伝遠——鮑姑艾伝説の民間文化土壤」（黎志添主編『香港及華南道教史研究』中華書局、二〇〇五）。

楊莉「『墉城集仙録』版本考証及補佚」（『中國文化研究所學報 Journal of Chinese Studies』第四四期、二〇〇四）三〇一～三二八頁。

楊莉「男性之眼的出場与退場——唐代文人作品与道教作品中女仙形象之比較閱讀」、（劉楚華主編『唐代文學与宗教』中華書局、二〇〇四）五二三～五四五頁。

楊莉「從邊緣到中心：唐代護国女仙与皇室本宗情結——兼論李唐皇室与地方政府及道教界的互動關係」（黎志添主編『道教研究与中国宗教文化』中華書局、二〇〇三、所收）一二二～一五一頁。

楊莉「「女冠」芻議：一種宗教・性別与象徵的解讀」（『漢學研究』第十九卷第一期、二〇〇一）一六七～一八五頁。

楊莉「墉城中的西王母：以『墉城集仙録』為基礎的考察」（『道教神仙信仰研究』中華道統出版社、二〇〇〇）三四二～三七一頁。

楊莉「墉城中的西王母：以『墉城集仙録』為基礎的考察・続」（『宗教学研究』第四期、二〇〇〇）九～一一頁。

楊莉『道教女仙伝記『墉城集仙録』研究』（香港中文大學哲學研究所博士論文、二〇〇〇）。

葛兆光『屈服史及其他：六朝隋唐道教的思想史研究』（生活・讀書・新知三聯書店、二〇〇三）。

葛兆光『中國宗教与文學論集』（清華大學出版社、一九九八）。

- 雷聞『郊廟之外：隋唐国家祭祀与宗教』（生活・読書・新知三聯書店、二〇〇九）。
- 詹石窗『道教文学史』（上海文芸出版社、一九九二）。
- 詹石窗『道教与女性』（上海古籍出版社、一九九〇）。
- 聞一多「高唐神女伝説之分析」（『神話与詩』古籍出版社、一九五六）。
- 蒲慕州『追尋一己之福——中国古代的信仰世界』（允晨文化出版公司、一九九五）。
- 蒲慕州「神仙与高僧——魏晋南北朝宗教心態試探」（『漢学研究』第八卷第二期、一九九〇）  
一四九～一七六頁。
- 趙軼峰『明代国家宗教管理制度与政策研究』（中国社会科学出版社、二〇〇八）。
- 劉守華『道教与中国民間文学』（文津出版社、一九九一）。
- 劉俊文主編『日本学者研究中国史論著選訳』（中華書局、一九九七）。
- 劉俊文主編『日本中青年学者論中国史選訳』（中華書局、一九九五）。
- 劉苑如『身体・性別・階級——六朝志怪的常異論述与小説美学』（中央研究院中国文哲研究所、二〇〇二）。
- 劉苑如「六朝志怪中的女性陰神崇拜之正当化策略初探」（『思与言』第三五卷第二期、一九九七年六月）九三～一三二頁。
- 劉師培「讀道藏記」（『劉師培全集』新華書局、一九九七、所収）九三～九四頁。
- 劉雪梅「道教文学研究的現状与反思」（曹中建主編『中国宗教研究年鑑』二〇〇一～二〇〇二年卷、宗教文化出版社、二〇〇三）。
- 劉增貴「漢代婦女的名字」（李貞德、梁其姿主編『婦女与社会』中国大百科全書出版社、二〇〇五）。
- 劉瓊云「人、天、魔——『女仙外史』中的歷史缺憾与她界想像」（『中国文哲研究集刊』三八期、二〇一一年三月）四三～九四頁。
- 樊樹志『晚明史』（復旦大学出版社、二〇〇三）。
- 歐陽健『中国神怪小説通史』（江蘇教育出版社、一九九七）。
- 潘亦迎『王世貞的信仰世界——以龍沙讖信仰為中心的考察』（清華大學歷史系博士論文、二〇一三）。
- 潘榮勝『明清進士錄』（中華書局、二〇〇六）。
- 蔡相憚「僧照乘与『天妃顯聖錄』」（『2014 媽祖文化學術研討会』中国社会科学院歷史研究所等、二〇一四年八月十三～十四日）、四一七～四三〇頁。
- 蔡相憚「媽祖信仰的本質」（『空大人文学報』第十九期、二〇〇〇年十二月）一三三～一五五頁。
- 鄧小南『唐宋女性与社会』（上海辭書出版社、二〇〇三）。

鄭在書主編、崔麗紅訳『東亜女性の起源：從女性主義角度解析『列女伝』』（人民文学出版社、二〇〇五）。

鄭素春『全真教与大蒙古国帝室』（台湾学生書局、一九八七）。

鄭毓瑜「流亡の風景——〈遊後樂園賦〉与朱舜水の遺民書写」（『漢学研究』第二〇卷第二期、二〇〇二年十二月）一～二八頁。

鄭毓瑜「美麗的周旋——魏晉「神女論述」的模擬与轉化」（『辞賦文学論集』江蘇教育出版社、一九九九）三〇九～三四二頁。

鄭毓瑜「神女論述与性別演義——以屈原・宋玉賦為主的討論」（『婦女与両性学刊』八期、一九九七年四月）五五～七五頁

魯迅『古小説鈎沈』（浙江古籍出版社、二〇〇八）。

魯迅『中国小説史略』（上海古籍出版社、二〇〇六）。

黎志添「明清道教呂祖降乩信仰の發展及相關文人乩壇研究（『中国文化研究所学報』第六五期、二〇一七）四九一～五一〇頁。

黎志添「識見、修煉与降乩——從南宋到清中葉呂洞賓顯化度人的事蹟分析呂祖信仰的变化（『清華學報』四六卷第一期、二〇一六）一三九～一七九頁。

黎志添『宗教研究与詮釋学：宗教学建立之思考』（香港中文大学出版社、二〇〇三）。

黎志添『道教研究与中国宗教文化』（中華書局、二〇〇三）。

黎志添「從葛玄神仙形像看中古世紀道教与地方神仙伝説」（『中国文化研究所学報』新第一〇期、二〇〇一）四九一～五一〇頁。

黎志添「『抱朴子内篇』の歴史处境：葛洪神仙思想の宗教社会意義」（『清華學報』新二十九卷第一期、一九九九）三五～五八頁。

盧建榮「從男性書写材料看三到七世紀女性的社会形象塑模」（『台湾師範大学歴史學報』二六期、一九九八）。

盧錦堂『『太平広記』引書考』（花木蘭文化出版社、二〇〇六）。

賴慧玲「海峽兩岸「道教文学」研究資料（一九二六～二〇〇五年）概況簡析」、（『成大宗教与文化學報』第八期、二〇〇七年八月）九七～一二八頁。

繆咏禾『明代出版史稿』（江蘇人民出版社、二〇〇〇）。

謝世維『天界之文：魏晉南北朝靈寶經典研究』（台湾商務印書館、二〇一〇）。

謝世維「聖典与伝訳：早期道教天書伝統与翻訳」（『中国文哲研究集刊』三九期、二〇〇七）一八五～二三三頁。

謝必震・胡新『中琉關係史料与研究』（海洋出版社、二〇一〇）。

謝聰輝「道教的両性観——從教義・制度与修煉看道教的性別意識」（『二〇〇〇年台湾青年

- 宗教学者宗教与心靈改革研討会論文集』、高雄道德院、二〇〇〇) 三一～七三頁。
- 謝麗卿「唐代女冠之研究」(中興大學歷史研究所碩士論文、一九九八)。
- 簡宗梧「神女賦探究」、『漢賦史論』(東大圖書公司、一九九三)一〇三～一一二頁。
- 顏美娟『女仙外史研究』(東海大學中國文學研究所碩士論文、一九八五)。
- 羅宗強『明代後期士人心態研究』(南開大學出版社、二〇〇六)。
- 羅爭鳴『杜光庭道教小說研究』(巴蜀書社、二〇〇五)。
- 羅爾綱『水滸伝原本和著者研究』(江蘇古籍出版社、一九九二)。
- 譚正璧編『中國女性的文学生活』(河洛圖書出版社、一九七七)。
- 閔曼君『唐詩中女仙・道家女子之研究』(國立東華大學中國語文學系碩士論文、二〇〇三)。
- 嚴耀中『墓志祭文中的唐代婦女佛教信仰』(鄧小南主編『唐宋女性与社会 下』上海辭書出版社、二〇〇三、所収)。
- 龔敏『小說考索与文献鉤沈』(齋魯書社、二〇一〇)。
- 龔敏「明代出版家楊爾曾編撰刊刻考」(『文學新鑰』第十期、二〇〇九年一二月) 一九五～二三〇頁。
- 龔敏「『東西晉演義』与『東西兩晉志伝』關係考」(『東華人文學報』第一二期、二〇〇八年一月) 一四五～一六六頁。
- 龔鵬程『道教新論』(台灣學生書局、一九九一)。
- 樂成顯「賦役黃冊与明代等級身份」(『中國社會科學院研究生院學報』二〇〇七年一月) 八九～九六頁。
- 樂成顯『明代黃冊研究』(中國社會科學出版社、一九九八)。
- Walner, Ann 「生命与書簡：对曇陽子之再思」(遊鑑明・胡纓・季家珍主編『重讀中國女性生命故事』五南圖書、二〇一一) 二八七～三一四頁。
- Walner, Ann 「曇陽子的身体：茅山道教与貞節儀式」、「性別的文化建構：性別・文本・身体・政治」國際學術研討會論文一九九七年五月二四～二五日。

### (三) 欧文

- Ang, Isabelle 著、岑咏芳訳「南宋時期的呂洞賓信仰」(『法國漢學』叢書編輯委員會編『法國漢學』第七輯(宗教史專号)、中華書局、二〇〇二) 三四六～三七五頁。
- Bokenkamp, Stephen R. "Transmissions of a Female Daoist: Xie Ziran (767-795)." In *Affiliation and Transmission in Daoism: A Berlin Symposium*, edited by Florian C Reiter, 109-121. Berlin: Harrassowitz, 2012.

- Bokenkamp, Stephen R. *Taoist Literature. Part I: Through the T'ang Dynasty*. In *The Indiana Companion to Traditional Chinese Literature*, edited by William H. Nienhauser, Jr., 38-152. Bloomington: Indiana University Press, 1986.
- Boltz, Judith M. *A Survey of Taoist Literature: Tenth to Seventeenth Centuries*. Berkeley: Institute of East Asian Studies, University of California, Berkeley, Center for Chinese Studies, 1987.
- Boltz, Judith M., *Taoist Literature. Part II: Five Dynasties to the Ming*. In *The Indiana Companion to Traditional Chinese Literature*, edited by William H. Nienhauser Jr., 152-174. Bloomington: Indiana University Press, 1986.
- Brook, Timothy. *Praying for Power: Buddhism and the Formation of Gentry Society in Late-Ming China*. Cambridge: Harvard University Press, 1994. 中訳本は、Brook, Timothy 著、張華訳『為権力祈祷：仏教与晚明中国士紳社会的形成』（江蘇人民出版社、二〇〇五）。
- Brook, Timothy. *The Confusions of Pleasure: Commerce and Culture in Ming China*. Berkeley: University of California Press, 1999. 中訳本は、Brook, Timothy 著、方駿、王秀麗、羅天佑訳『縱樂的困惑：明代的商業与文化』（聯経出版事業公司、二〇〇四）。
- Cahill, Suzanne E. *Divine Traces of the Daoist sisterhood: "Records of the assembled transcendents of the fortified walled city" by Du Guangting*. Magdalena, NM: Three Pines Press, 2006.
- Yang, Erzeng. *The Story of Han Xiangzi: The Alchemical Adventures of a Daoist Immortal*. Translated by Phillip Clart. Seattle: University of Washington Press, 2007.
- Despeux, Catherine. *Immortelles de la Chine ancienne: Taoïsme et alchimie féminine*. Pardès, 1990. 和訳本は、Despeux, Catherine 著、門田真知子訳、三浦国雄監修『女のタオイスム』（人文書院、一九九六）。
- Despeux, Catherine and Livia Kohn. *Women in Daoism*. Cambridge: Standard; Three Pines Press, 2003.
- Despeux, Catherine, *Women in Daoism*. In Livia Kohn ed., *Daoism Handbook*. Leiden; Boston: Brill, 2000, pp. 339-383.
- Dudbridge, Glen. *The Legend of Miaoshan*. London: Ithaca Press, 1978. 中訳本は、Glen Dudbridge 著、李文彬、賴瑞和、廖朝陽訳『妙善伝説：観音菩薩縁起考』（巨流図書公司、一九九〇）。
- Ebrey, Patricia. *Inner Quarters: Marriage and the Lives of Chinese Women in the Sung Period*. Berkeley: University of California Press, 1993. 中訳本は、Ebrey, Patricia (伊沛霞) 著、胡志宏訳『内闈：宋代的婚姻和婦女生活』（江蘇人民出版社、二〇〇五）。
- Needham, Joseph 著、姚国水訳『中国之科学与文明 六』（商務印書館、一九七五）。
- Valerie, Hansen, *Changing Gods in Medieval China, 1127-1276*. Princeton: Princeton University Press, 1990. 中訳本は、Hansen Valerie 著、包偉民訳『変遷之神』（浙江人民出版社、

一九九九)。

Holzman, Donald 著、楊民訳「曹植与神仙」(『法国漢学』叢書編輯委員会編『法国漢学』第四輯、中華書局、一九九九) 一八七～二三二頁。

Huang, Shih-Shan Susan, *Picturing the True Form: Daoist Visual Culture in Traditional China*. Cambridge: Harvard University Asia Center, 2015.

Hymes, Robert. *Way and Byway: Taoism, Local Religion, and Models of Divinity in Sung and Modern China*. Berkeley: University of California Press, 2002. 中訳本は、Robert Hymes 著、皮慶生訳『道与庶道：宋代以来的道教、民間信仰与神靈模式』(江蘇人民出版社、二〇〇七)。

Jordan, David K.・Overmyer, Daniel L. *The Flying Phoenix : Aspects of Chinese Sectarianism in Taiwan*. Princeton: Princeton University Press, 1986. 中訳本は、Jordan, David K. (焦大衛)・Overmyer, Daniel L (欧大年) 著、周育民訳『飛鸞：中国民間教派面面觀』(香港中文大学、二〇〇五)。

Kleeman, Terry F. *A God's own tale: the Book of transformations of Wenchang, the Divine Lord of Zitong*. Albany: State University of New York Press, 1994.

Ko, Dorothy. *Teachers of the Inner Chambers: Women and Culture in Seventeenth-Century China*. California: Stanford University Press, 1995. 中訳本は、Ko, Dorothy (高彦頤) 著、李志生訳『閨塾師：明末清初江南の才女文化』(江蘇人民出版社、二〇〇五)。

Komjathy, Louis. *Cultivating Perfection: Mysticism and Self-transformation in Early Quanzhen Daoism*. Leiden: Brill, 2007.

Lagerwey, John 著、范麗珠訳『中国宗教の合理性』(『法国漢学』叢書編輯委員会編『法国漢学』第四輯、中華書局、二〇〇二) 三三八～三五四頁。

Lagerwey, John 著、譚偉倫訳『詞彙的問題——我們應如何討論中国宗教?』(『法国漢学』叢書編輯委員会編『法国漢学』第七輯 (宗教史專号)、中華書局、二〇〇二) 二六〇～二七〇頁。

Louie, Kam. *Theorising Chinese Masculinity: Society and Gender in China*. Cambridge: Cambridge University Press, 2009. 中訳本は、Louie, Kam (雷金慶) 著、劉婷訳『男性特質論：中国的社会与性別』(江蘇人民出版社、二〇一二)。

Lin, Li-chiang, "A Study of the Xinjuan hainei qiguan, a Ming Dynasty Book of Famous Sites." In *Bridges to Heaven: Essays on East Asian Art in Honor of Professor Wen C. Fong*, edited by Jerome Silbergeld, Dora C.Y. Ching, Judith G. Smith, and Alfreda Murck, 779-812. Princeton: P.Y. and Kinmay W. Tang Center for East Asian Art, Princeton University in association with Princeton University Press, 2011.

Mair, Victor H. *Painting and performance: Chinese picture recitation and its Indian genesis*.

- Honolulu: University of Hawaii Press 1988. 中訳本は、Mair, Victor H (梅維恒) 著、王邦維・榮新江・錢文忠訳、季羨林審定『絵画と表演——中国的看图講故事和它的印度起源』(燕山出版社、二〇〇〇)。
- Mair, Victor H. *T'ang Transformation Texts: A study of the Buddhist contribution to the rise of vernacular fiction and drama in China*. Cambridge, Massachusetts: Harvard University Council on East Asian Studies, 1989. 中訳本は、Mair, Victor H (梅維恒) 著、楊繼東、陳引馳訳、徐文堪校『唐代変文：仏教对中国白話小説及戯曲産生的貢獻之研究』(中国仏教文化出版有限公司、一九九九)。
- Mann, Susan. *Precious Records: Women in China's Long Eighteenth Century*. California: Stanford University Press, 1997. 中訳本は、Mann, Susan (曼素恩) 著、楊雅婷訳『蘭閨宝録——晚明至盛清時の中国婦女』(左岸文化出版、遠足文化発行、二〇〇五)。
- Porkert, Manfre 著、野口鉄郎訳『平妖伝』にみる道教的反乱者の倫理的 성격(酒井忠夫『道教の総合的研究』国書刊行会、一九八三) 三九四～四一八頁。
- Fracasso, Riccardo. "Holy Mothers of Ancient China: A New Approach to the His-wang-mu Problem." *T'oung Pao* vol.74, no.1/3(1988): 1-46.
- Campany, Robert Ford, *To Live as Long as Heaven and Earth: A Translation and Study of Ge Hong's Traditions of Divine Transcendents*. Berkeley: University of California Press, 2002.
- Campany, Robert Ford. *Making Transcendents: Ascetics and Social Memory in Early Medieval China*. Hawaii: University of Hawaii Press, 2009.
- Campany, Robert Ford. *Strange Writing: Anomaly Accounts in Early Medieval China*. New York: State University of New York Press, 1996.
- Schafer, Edward H. *The Divine Woman: Dragon Ladies and Rain Maidens in T'ang Literature*. San Francisco: North Point Press, 1980.
- Schipper, Kristofer M. "The True Form: Reflections on the Liturgical Basis of Taoist Art." *Sanjiao Wenxian: Matériaux pour l'étude de la religion chinoise*, no. 4 (2005): 91-113.
- Schipper, Kristofer.M.著、M.スワミエ (Michel Soymié) 訳「五岳真形図の信仰」(吉岡義豊編『道教研究』昭森社、一九六七) 第二冊、一一四～一六二頁。
- Seidel, Anna, "Imperial Treasures and Taoist Sacraments." In *Tantric and Taoist Studies in Honour of R. A. Stein*, edited by Michel Strickmann. Brussels: Institut Belge des Hautes Etudes Chinoises, 1983, 2:291-371. 中訳は、劉屹訳「国之重宝与道教秘宝——識諱所見道教的淵源」(『法国漢学』叢書編輯委員会編『法国漢学』第四輯、中華書局、一九九九) 四二～一二七頁。
- Steavu-Balint, Dominic. "The Three Sovereigns Traditions: Talismans, Elixirs, and Meditation in Early Medieval China." PhD diss., Stanford University, 2010.

- Szonyi, Michael. *The Art of Being Governed: Everyday Politics in Late Imperial China*. Princeton: Princeton University Press, 2017.
- Shahar, Meir. *Crazy Ji: Chinese religion and popular literature*. Cambridge, Mass.: Harvard University Asia Center, 1998.
- Skar, Lowell. “Golden Elixir Alchemy: The Formation of the Southern Lineage and the Transformation of Medieval China.” PhD diss., University of Pennsylvania, 2000.
- Spence, Jonathan D. *The Death of Woman Wang*. London: Penguin Books, 1998. 中訳本は、Spence, Jonathan D 著、李孝愷訳、李孝悌校訳『婦人王氏之死』（麦田出版、二〇〇一）。
- Steavu, Dominic. *The Writ of the Three Sovereigns: From Local Lore to Institutional Daoism*. Hong Kong: The Chinese University Press, 2020.
- Stein, Rolf Alfred 著、耿昇訳「観音——從男神變女神一例」（『法国漢学』叢書編輯委員会編『法国漢学』第二輯、清華大学出版社、一九九七）八六～一九二頁。
- Verellen, Franciscus. *Du Guangting (850-933) : Taoïste de Cour à la fin de la Chine Médiévale*. Paris : Collège de France, Institut des Hautes Études Chinoises : De Boccard, 1989.
- Walther, Ann. “T’an-yang-tzu and Wang Shih-chen: Visionary and Bureaucrat in the Late Ming.” *Late Imperial China* 8 (1), (June 1987): 105-133.
- Wang, Richard G. *The Ming Prince and Daoism: Institutional Patronage of an Elite*. New York: Oxford University Press, 2012.
- Valussi, Elena. “Beheading the Red Dragon: A History of Female Inner Alchemy in China.” PhD diss., University of London SOAS, 2003.
- Wilburn, Hansen. *When Tengu Talk: Hirata Atsutane's Ethnography of the Other World*. Honolulu: University of Hawaii Press, 2008.
- Wilburn, Hansen. “The Medium is the Message: Hirata Atsutane’s Ethnography of the World Beyond.” *History of Religions* 45, no. 4 (May 2006): 337-72.



# 論文の内容の要旨

論文題目：東アジアにおける女仙信仰と女仙伝—その起源と展開、伝播  
氏名： 頼思好

東アジアにおいて殷賑を極めた海上交流によって、中国の神仙思想も各地域に伝えられた。女仙は本来超俗的な存在であり、かつ人々の崇拝と信仰を受ける神聖な存在だったはずだが、実際には、近世東アジアで信仰の対象となった女仙はそう多くはない。日本では、女仙はまず、文学作品を通じて貴族や知識人の想像の世界に入り込んだ。女仙を題材とした文学作品が数多く生まれたことは、多くの先行研究によってすでに指摘されている。その上で筆者が指摘したいのは、女仙は文学の他にも文化・民俗・信仰などの面において受容されたことである。特に江戸時代において、女仙にまつわる思想文化は明らかに様々な形で浸透している。

「女仙」という言葉は、現代日本ではあまり知られていない。日本でよく知られている女神・仙女・天女などと女仙は性質的には重なる部分があるが、その「人を救い、修道に励む」などといった道教的な本質は、日本で一般的に認知されている女神などとは根本的に違うものと考えられる。例えば、宋元時代の道教経典『先天玄妙玉女太上聖母資伝仙道』の聖母元君の教えによれば、「道は術によって人を救い、人は修練によって道を会得し、それから変化は無窮となる」。この記述は女仙の特質を説明し、俗世の人々の女仙に対する認識と期待を浮き彫りにしている。中国における女仙は、引導と修道という独特な道教的意味を帯びていた。しかし他の地域に伝わった際にその認識が変わり、信仰的な理解は大幅に薄れたものと思われる。

本論文は本文の九章と一つの付録によって構成され、最後に引用資料および参考文献を載せる。本文は第一章の序論と第九章の結論の二章を除けば二部に分けられ、前半は女仙思想の源流について、即ち女仙伝記集の展開及び書物成立などについて考察した。この部分が題目の「起源」にあたる。後半は東アジアにおける女仙信仰文化の受容について、とくに女仙と関係深い五岳真形図（以下、五岳図とも記す）の受容について論述した。即ち、題目の「展開、伝播」にあたる部分だ。各章の要約を以下に記す。

第二章「女仙伝記集の源流」は、女仙伝記集を女仙理解のために最も相応しい文献として考察した。女仙伝は神仙集伝の流れを汲んで発展したため、女仙伝を備える神仙伝記集も取り上げた。また、三部のみ存在する女仙伝記集には、前後の継承関係があることを明らかにした。即ち、唐代末期の道士杜光庭による『墉城集仙録』、元代の道士趙道

一が撰録した『歴世真仙體道通鑑後集』、明代において、浄明道を信仰し出版業に従事する文人楊爾曾が編纂した『新鐫仙媛紀事』(以下、『仙媛紀事』とも記す)の三部である。これらが全て王朝の末期に成立していることにも着目した。また、趙道一という人物の没年や『歴世真仙體道通鑑』と題された三十六巻の特殊な版本も取り上げた。

第三章『『新鐫仙媛紀事』の編纂者楊爾曾』では、『仙媛紀事』は女仙伝の集大成であり、最も大部の女仙伝記集として知られるが、最初の挿絵入りの伝記集である点、更に初めて文人が執筆したものという点においても意義深いことを論じた。また、楊爾曾の人物像と彼の浄明道信仰の背景について、散逸したか版本が雑然としている出版物が用いる題目や字号を考証した。これによって、彼の出版活動は自身の道教信奉過程の具体的反映であったことを示した。また、『仙媛紀事』の中に見られる曇陽子・劉香姑・荀仙姑らは、実際は皆当時の中央の朝廷官僚または地方の親王などといった支配階層が信奉していた女仙、女道士であった。さらに、このような社会風潮の中で、世俗と異なる思想を持ち、仙道を修める女性が存在するという社会認識があったことが推測される。本章では、仙道を奉じる女性たちに模範を提供することが『仙媛紀事』の編纂動機であったことを提示し、『仙媛紀事』には道教思想への傾斜があることを明らかにした。

第四章『『仙媛紀事』の版本問題と内容の形成過程について』は、日本、台湾、中国など各地がそれぞれ所蔵する『仙媛紀事』の版本を検討し、最古の版本である草玄堂善本が現存することを指摘した。また、書目の分類などについても論じた。

第五章「中国明代の白話小説における女仙イメージと道教思想文化—『水滸伝』からの考察—」は、東アジアで広く読まれる白話小説『水滸伝』を取り上げ、第四十二回・第八十八回などに見られる「九天玄女が天書を授ける」場面が道教の伝統に由来していること、それが『秘蔵通玄变化六陰洞微遁甲真経』『靈宝六丁秘法』など遁甲經典の叙述と共通することを指摘した。たとえば、『遁甲真経』には「遁甲術は九天玄女の法である」と明確に述べられている。また、趙普の進書の深い資料的意義も示した。

第六章「五岳真形図と日本における女仙信仰文化」では、各地から集めてきた五岳図を紹介し、日本における五岳図の受容と独自性を取り上げた。日本では、ほぼ西王母の言葉を用いて理解され、女仙信仰の一環として認識されていることが多い。それに対して中国では、五岳図が女仙と同じルーツを持つことはあまりない。また、五岳図の様式は地図式と唐鏡式の二つに大別され、夙に平安時代には地図式五岳図が日本に伝わっていた。しかし、本格的に流行するのは江戸時代であり、唐鏡式の方が広く伝播した。また、日本における五岳図関係文献は、どの時代のものも西王母に繰り返し触れている。

江戸時代に五岳図が流布した背景には修験道や江戸の旅行文化があったと考えられる。例として、八隅盧菴『旅行用心図』、筆者がフランス国家図書館で発見した「東海道 中山道里程表」などがある。他にも幅広く利用され、調度品など、特に源内焼に多く確認される。さらに、徳川光圀が五岳図を自らの花押として用いていたことを指摘した。また、韓国の南面の画家による五岳図もある。

第七章「江戸時代の女仙文化の受容の一例(一): 東臯心越の詩文に見える天妃信仰と

五岳真形図について」では、明末清初の遺民僧侶東皐心越の東渡経歴を検証することで、女仙を信仰する文化の日本伝来の一端を明らかにした。天妃の研究はすでに非常に多いが、天妃信仰を東日本にもたらしたと言われる心越の研究は多くない。とくに彼の詩文を手掛かりとしての考察は少ない。心越は日本篆刻と江戸古琴の開祖とされることもあり、徳川光圀と親しく交流した。彼は曹洞宗の僧侶の身分だが、仏教の神ではない媽祖の信仰を広めたのである。

第八章「江戸時代の女仙文化の受容の一例(二):平田篤胤と道教五岳真形図について」においては、平田篤胤の諸々の著作及び平田家の書簡、日記などを考察した。平田篤胤は二十～三十種類の五岳図を収集したのみならず、中国の説と日本思想を掛け合わせ、五岳図を多岐的かつ複層的に意味づけ、「大小五岳図説」を提示した。五岳に関する彼の考えは『五岳真形図説』『天柱五岳余論』『赤県太古伝』などの著書に見える。平田篤胤の思想において一貫しているのは『漢武帝内伝』の西王母の言葉を以て五岳図の唯一「正しい」歴史的源流とし、五岳をめぐる神聖地理学の核心としたことである。さらに、西王母と彼女の統治する崑崙を中心に、その位置と地景を日本の地理と結合し、五岳を非常に斬新に解釈した。この説は東アジアにおける道教の展開を考える上で重要な例と考えられる。なお、平田篤胤は彼の著した『黄帝伝説』で、九天玄女にも新しい解釈を加えている。

また、平田篤胤は知識的な学習のみではなく、実践も行っており、気吹舎の束修制度を伝える「道統礼式」からは五岳図伝授の特殊性が窺われる。また『赤県太古伝』には孫の延胤に籤を引かせ、五岳の神霊の意志を尋ねたという記録がある。さらに、新整理の平田家史料（詳しくは付録「平田家資料における五岳図と三皇文に関わる書簡、日記等」を参照）から伝授の様相を明らかにできた。伊吹舎における伝授法は鄭隠・葛洪の伝承法と近いように思われる。篤胤自身の思想は異端だが、様々な書状、日記などを見ると、決して彼が唯一の信奉者、使用者ではないことがわかった。

第九章「結論と余論」では、まず女仙伝記をめぐる問題と価値の所在を述べた。次に、女仙の思想文化の日本受容について、近世東アジア地域間交流における位置づけなどを議論した。

総じて言えば、女仙は様々な分野で多彩な研究が多いが、まず、女仙の原初的な思想、たとえば、道教由来のイメージなどに関する具体的な考察はほぼ見られない。本論文ではこの問題への回答を試み、例えば、第五章で『水滸伝』中の九天玄女のイメージと道教遁甲説との関係を取り上げた。また、『仙媛紀事』は女仙思想を理解する上で最も重要な文献であるにも拘わらず、これまで専門的な考察がなかったため、注力して論じた。

さらに、日に日に盛んになる東アジア研究において、道教に関する研究は依然として豊富とは言えず、まして女仙研究の乏しさは言うまでもない。本論では、後半の考察により、当時の女仙をめぐる実際の状況を多少なりとも明らかにすることを試みた。

本論は挑戦的な調査・考察を多分に含み、今後研究を進めていく上での端緒にすぎない。しかし、これによって、他の様々な思想文化へ無意識下のうちに浸透している女仙

思想の重要さが見直され、江戸時代には大した道教思想は存在しなかったという通説に一石を投じることができれば、とささやかながら期待する次第である。

本論文は全体として、あくまでも基礎的な研究として位置づけられる。そして、これまではば議論されて来なかった資料を中心とし、新しい視点を提供することや、今後議論されるべき課題を提示することが筆者の目指したところである。